

北海道環境基本計画〔第2次計画〕改定版の目標と達成状況

(令和元年度北海道環境基本計画〔第2次計画〕改定版に基づく点検・評価結果より抜粋)

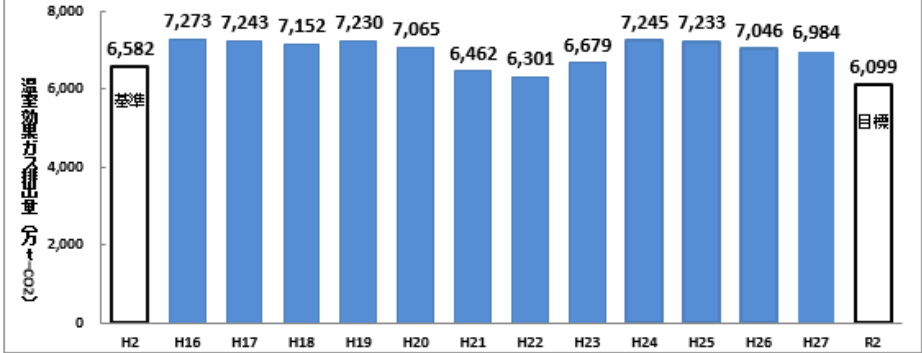
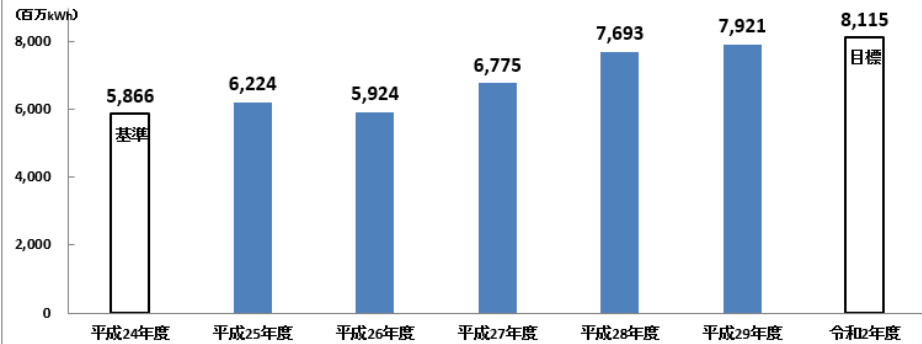
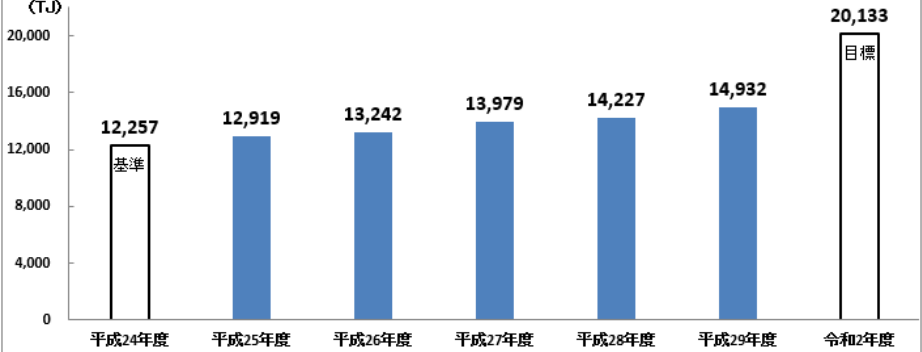
I 分野別の目標と達成状況

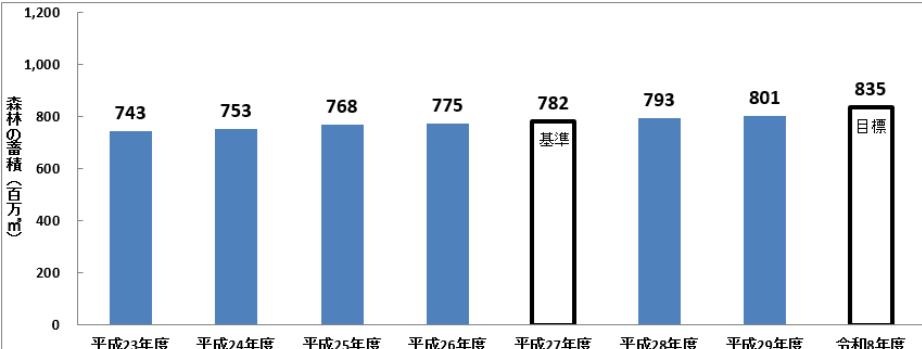
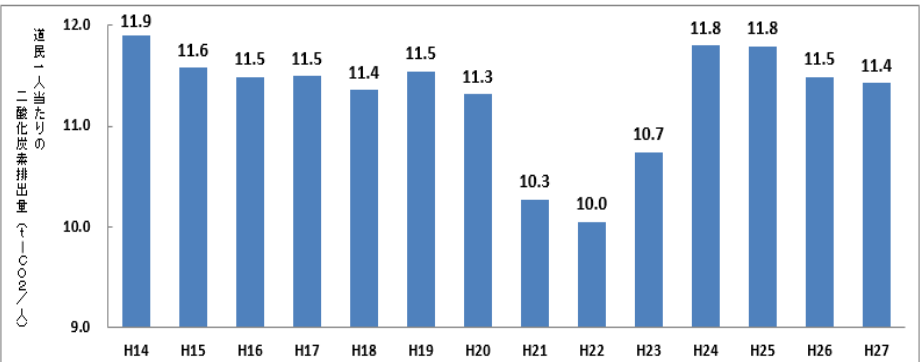
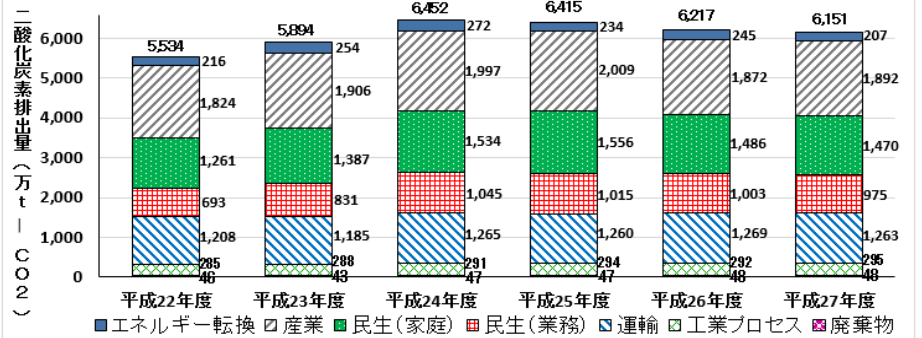
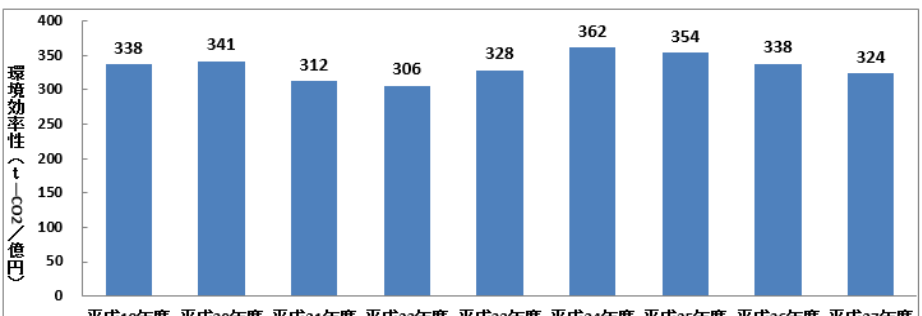
1 地域から取り組む地球環境の保全

■施策分野の目標とその達成状況

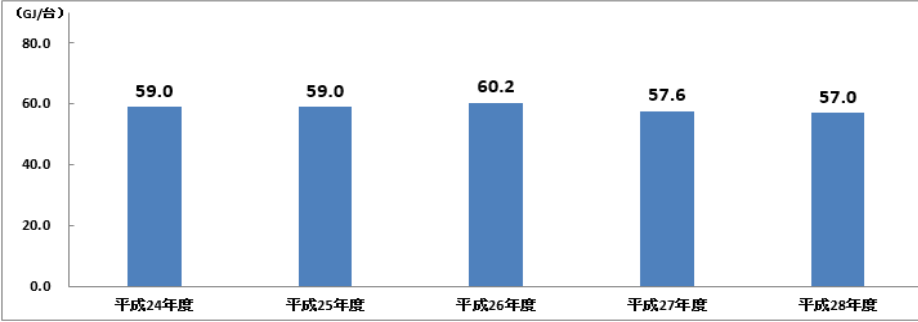
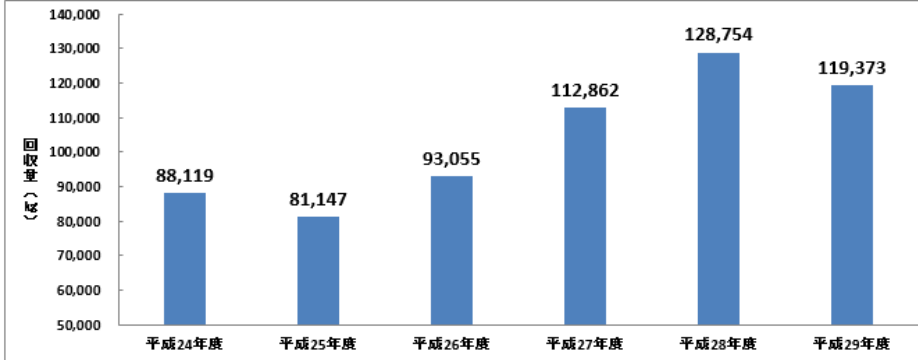
目標①	二酸化炭素など温室効果ガスの排出を抑制する
達成状況	本道の温室効果ガス排出量は、平成23年度から上昇傾向にあったが、 平成27年度実績では平成2年度に比べて温室効果ガス排出量は6.1%増加しているものの、前年度と比べると0.9%の減少 。積雪寒冷・広域分散型の地域特性から、民生（家庭）部門、運輸部門からの排出割合が全国に比べて高い状況。 なお、 指標は進展しているが、目標の達成に向けては遅れが見られ 、道民一人ひとりの日常生活や職場での二酸化炭素排出削減に向けた取組の実践と定着等に向けた一層の推進が重要。
目標②	バイオマスや風力などの利活用による新エネルギーの導入を推進する
達成状況	北海道全体の新エネルギーの導入量（発電電力量）は 大型の太陽光やバイオマス発電の導入が進み増加しており、目標の達成に向けて順調に推移 。バイオマスや温泉熱などの熱利用分野では 地産地消の取組が進んでいる 。
目標③	化石燃料への依存の少ないライフスタイルや事業活動を推進する
達成状況	平成23年度から増加していた 道民一人あたりの二酸化炭素排出量は、平成24年度以降減少傾向 となっているものの、全国平均よりも高い状況。家庭や職場での二酸化炭素排出削減に向けた取組の一層の推進が重要。 なお、 本道の環境効率性（経済規模に比した二酸化炭素排出量）も平成24年度以降減少傾向 。
目標④	二酸化炭素吸収源としての森林の保全・整備を推進する
達成状況	適切な森林づくりが計画的に行われた結果、森林の蓄積は増加、 目標の達成に向けて順調に推移 。
目標⑤	フロン類の管理の適正化などを推進する
達成状況	フロン類の回収量は、近年増加傾向にあったが、 平成29年度の回収量は、前年と比べ9,381kg減少 。引き続きフロン類の適正な回収等に向けた取組を推進することが重要。 なお、回収されたフロン類は国の許可を受けている事業者において、適正に破壊処理が行われている。

■ 関連指標群の状況

関連指標群	内 容																														
<p>指標</p> <p>温室効果ガス排出量</p> <p>関連目標①②③⑤</p>	<p>温室効果ガス排出量は平成 23 年度から上昇傾向にあったが、平成 27 年度実績では平成 2 年度に比べて温室効果ガス排出量は 6.1%増加しているものの、前年度と比べると 0.9%の減少。</p> <p>なお、積雪寒冷・広域分散型の地域特性から、民生（家庭）部門、運輸部門の排出割合が全国に比べて高い。</p>  <table border="1"> <caption>温室効果ガス排出量 (万tCO₂)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H2</td><td>6,582</td></tr> <tr><td>H16</td><td>7,273</td></tr> <tr><td>H17</td><td>7,243</td></tr> <tr><td>H18</td><td>7,152</td></tr> <tr><td>H19</td><td>7,230</td></tr> <tr><td>H20</td><td>7,065</td></tr> <tr><td>H21</td><td>6,462</td></tr> <tr><td>H22</td><td>6,301</td></tr> <tr><td>H23</td><td>6,679</td></tr> <tr><td>H24</td><td>7,245</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7,233</td></tr> <tr><td>H26</td><td>7,046</td></tr> <tr><td>H27</td><td>6,984</td></tr> <tr><td>R2</td><td>6,099</td></tr> </tbody> </table>	年度	排出量	H2	6,582	H16	7,273	H17	7,243	H18	7,152	H19	7,230	H20	7,065	H21	6,462	H22	6,301	H23	6,679	H24	7,245	H25	7,233	H26	7,046	H27	6,984	R2	6,099
年度	排出量																														
H2	6,582																														
H16	7,273																														
H17	7,243																														
H18	7,152																														
H19	7,230																														
H20	7,065																														
H21	6,462																														
H22	6,301																														
H23	6,679																														
H24	7,245																														
H25	7,233																														
H26	7,046																														
H27	6,984																														
R2	6,099																														
<p>指標</p> <p>新エネルギー導入量</p> <p>発電分野 (発電電力量)</p> <p>関連目標②</p>	<p>再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入（平成 24 年 7 月）を契機に太陽光やバイオマスなどの導入が進んだ結果、近年は実績値が大きく伸びており、目標の達成に向けて順調に推移。</p>  <table border="1"> <caption>新エネルギー導入量 (百万kW)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>導入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年度</td><td>5,866</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>6,224</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>5,924</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>6,775</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>7,693</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>7,921</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>8,115</td></tr> </tbody> </table>	年度	導入量	平成24年度	5,866	平成25年度	6,224	平成26年度	5,924	平成27年度	6,775	平成28年度	7,693	平成29年度	7,921	令和2年度	8,115														
年度	導入量																														
平成24年度	5,866																														
平成25年度	6,224																														
平成26年度	5,924																														
平成27年度	6,775																														
平成28年度	7,693																														
平成29年度	7,921																														
令和2年度	8,115																														
<p>指標</p> <p>新エネルギー導入量</p> <p>熱利用分野</p> <p>関連目標②</p>	<p>エネルギー地産地消の取組支援などにより、バイオマスを中心に地域の特性を活かした熱利用が着実に増加。</p>  <table border="1"> <caption>新エネルギー導入量 (TJ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>導入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年度</td><td>12,257</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>12,919</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>13,242</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>13,979</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>14,227</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>14,932</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>20,133</td></tr> </tbody> </table>	年度	導入量	平成24年度	12,257	平成25年度	12,919	平成26年度	13,242	平成27年度	13,979	平成28年度	14,227	平成29年度	14,932	令和2年度	20,133														
年度	導入量																														
平成24年度	12,257																														
平成25年度	12,919																														
平成26年度	13,242																														
平成27年度	13,979																														
平成28年度	14,227																														
平成29年度	14,932																														
令和2年度	20,133																														

関連指標群	内 容																																																															
<p>個別指標</p> <p>森林の蓄積と地球温暖化防止機能</p> <p>関連目標④</p>	<p>適切な森林づくりが計画的に行われた結果、森林の蓄積は増加。目標の達成に向けて、順調に推移。</p>  <table border="1"> <caption>森林の蓄積 (百万立米)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>蓄積量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成23年度</td><td>743</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>753</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>768</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>775</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>782 (基準)</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>793</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>801</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>835 (目標)</td></tr> </tbody> </table>	年度	蓄積量	平成23年度	743	平成24年度	753	平成25年度	768	平成26年度	775	平成27年度	782 (基準)	平成28年度	793	平成29年度	801	令和8年度	835 (目標)																																													
年度	蓄積量																																																															
平成23年度	743																																																															
平成24年度	753																																																															
平成25年度	768																																																															
平成26年度	775																																																															
平成27年度	782 (基準)																																																															
平成28年度	793																																																															
平成29年度	801																																																															
令和8年度	835 (目標)																																																															
<p>補足データ</p> <p>一人当たりの二酸化炭素排出量</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 27 年度の道民一人当たりの排出量は 11.4t-CO₂ となっており、全国平均の 9.7t-CO₂/人よりも高い値となっているが、平成 24 年度以降、減少傾向。</p>  <table border="1"> <caption>道民一人当たりの二酸化炭素排出量 (t-CO₂/人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H14</td><td>11.9</td></tr> <tr><td>H15</td><td>11.6</td></tr> <tr><td>H16</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H17</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H18</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>H19</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H20</td><td>11.3</td></tr> <tr><td>H21</td><td>10.3</td></tr> <tr><td>H22</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>H23</td><td>10.7</td></tr> <tr><td>H24</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11.4</td></tr> </tbody> </table>	年度	排出量	H14	11.9	H15	11.6	H16	11.5	H17	11.5	H18	11.4	H19	11.5	H20	11.3	H21	10.3	H22	10.0	H23	10.7	H24	11.8	H25	11.8	H26	11.5	H27	11.4																																	
年度	排出量																																																															
H14	11.9																																																															
H15	11.6																																																															
H16	11.5																																																															
H17	11.5																																																															
H18	11.4																																																															
H19	11.5																																																															
H20	11.3																																																															
H21	10.3																																																															
H22	10.0																																																															
H23	10.7																																																															
H24	11.8																																																															
H25	11.8																																																															
H26	11.5																																																															
H27	11.4																																																															
<p>補足データ</p> <p>部門別二酸化炭素排出量</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 27 年度の排出割合は産業部門及び民生（家庭）部門が高い状況。</p>  <table border="1"> <caption>部門別二酸化炭素排出量 (万t-CO₂)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>エネルギー転換</th> <th>産業</th> <th>民生(家庭)</th> <th>民生(業務)</th> <th>運輸</th> <th>工業プロセス</th> <th>廃棄物</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成22年度</td><td>285</td><td>1,208</td><td>693</td><td>1,824</td><td>216</td><td>46</td><td>216</td><td>5,534</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>288</td><td>1,185</td><td>831</td><td>1,906</td><td>254</td><td>43</td><td>254</td><td>5,894</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>291</td><td>1,265</td><td>1,045</td><td>1,534</td><td>272</td><td>47</td><td>272</td><td>6,452</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>294</td><td>1,260</td><td>1,015</td><td>1,556</td><td>234</td><td>47</td><td>234</td><td>6,415</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>292</td><td>1,269</td><td>1,003</td><td>1,486</td><td>245</td><td>48</td><td>245</td><td>6,217</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>295</td><td>1,263</td><td>975</td><td>1,470</td><td>207</td><td>48</td><td>207</td><td>6,151</td></tr> </tbody> </table>	年度	エネルギー転換	産業	民生(家庭)	民生(業務)	運輸	工業プロセス	廃棄物	合計	平成22年度	285	1,208	693	1,824	216	46	216	5,534	平成23年度	288	1,185	831	1,906	254	43	254	5,894	平成24年度	291	1,265	1,045	1,534	272	47	272	6,452	平成25年度	294	1,260	1,015	1,556	234	47	234	6,415	平成26年度	292	1,269	1,003	1,486	245	48	245	6,217	平成27年度	295	1,263	975	1,470	207	48	207	6,151
年度	エネルギー転換	産業	民生(家庭)	民生(業務)	運輸	工業プロセス	廃棄物	合計																																																								
平成22年度	285	1,208	693	1,824	216	46	216	5,534																																																								
平成23年度	288	1,185	831	1,906	254	43	254	5,894																																																								
平成24年度	291	1,265	1,045	1,534	272	47	272	6,452																																																								
平成25年度	294	1,260	1,015	1,556	234	47	234	6,415																																																								
平成26年度	292	1,269	1,003	1,486	245	48	245	6,217																																																								
平成27年度	295	1,263	975	1,470	207	48	207	6,151																																																								
<p>補足データ</p> <p>環境効率性</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 27 年度の本道の環境効率性は、324t-CO₂/億円となり、前年度に比べて、経済規模に比した環境負荷（二酸化炭素排出量）は減少。</p>  <table border="1"> <caption>環境効率性 (t-CO₂/億円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成19年度</td><td>338</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>341</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>312</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>306</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>328</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>362</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>354</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>338</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>324</td></tr> </tbody> </table>	年度	効率性	平成19年度	338	平成20年度	341	平成21年度	312	平成22年度	306	平成23年度	328	平成24年度	362	平成25年度	354	平成26年度	338	平成27年度	324																																											
年度	効率性																																																															
平成19年度	338																																																															
平成20年度	341																																																															
平成21年度	312																																																															
平成22年度	306																																																															
平成23年度	328																																																															
平成24年度	362																																																															
平成25年度	354																																																															
平成26年度	338																																																															
平成27年度	324																																																															

関連指標群	内 容														
<p>補足データ</p> <p>低公害車の普及台数</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 29 年度の低公害車の普及台数は前年度に比べて、約 30,000 台の増加。</p> <table border="1"> <caption>低公害車の普及台数 (台)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>普及台数 (台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>97,025</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>122,573</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>148,392</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>177,297</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>208,946</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>238,782</td> </tr> </tbody> </table>	年度	普及台数 (台)	平成24年度	97,025	平成25年度	122,573	平成26年度	148,392	平成27年度	177,297	平成28年度	208,946	平成29年度	238,782
年度	普及台数 (台)														
平成24年度	97,025														
平成25年度	122,573														
平成26年度	148,392														
平成27年度	177,297														
平成28年度	208,946														
平成29年度	238,782														
<p>補足データ</p> <p>産業部門エネルギー消費原単位</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 28 年度の道内の産業部門エネルギー消費原単位は前年度と比べて 1.2GJ/百万円増加しているが、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく対策など各事業者の省エネの取組が進んでいる。</p> <table border="1"> <caption>産業部門エネルギー消費原単位 (GJ/百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費原単位 (GJ/百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>43.8</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>42.1</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>36.3</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>41.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費原単位 (GJ/百万円)	平成24年度	43.8	平成25年度	42.1	平成26年度	36.3	平成27年度	39.9	平成28年度	41.1		
年度	消費原単位 (GJ/百万円)														
平成24年度	43.8														
平成25年度	42.1														
平成26年度	36.3														
平成27年度	39.9														
平成28年度	41.1														
<p>補足データ</p> <p>家庭部門エネルギー消費原単位</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 28 年度の道内の家庭部門エネルギー消費原単位は、前年度に比べ 1.6 ポイント増加。前年に比べ冬期間の気温が低く、暖房用灯油等の使用量が増加したためと推察。</p> <table border="1"> <caption>家庭部門エネルギー消費原単位 (GJ/人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費原単位 (GJ/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>26.6</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>27.4</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>29.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費原単位 (GJ/人)	平成24年度	28.5	平成25年度	26.6	平成26年度	29.4	平成27年度	27.4	平成28年度	29.0		
年度	消費原単位 (GJ/人)														
平成24年度	28.5														
平成25年度	26.6														
平成26年度	29.4														
平成27年度	27.4														
平成28年度	29.0														
<p>補足データ</p> <p>業務部門エネルギー消費原単位</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 28 年度の道内の業務部門エネルギー消費原単位は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく対策など、LEDや省エネ型IT機器、コージェネレーションの導入や節電の取組が進んでおり、横ばいの状況。</p> <table border="1"> <caption>業務部門エネルギー消費原単位 (GJ/㎡)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費原単位 (GJ/㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費原単位 (GJ/㎡)	平成24年度	3.3	平成25年度	3.4	平成26年度	3.4	平成27年度	3.4	平成28年度	3.3		
年度	消費原単位 (GJ/㎡)														
平成24年度	3.3														
平成25年度	3.4														
平成26年度	3.4														
平成27年度	3.4														
平成28年度	3.3														

関連指標群	内 容														
<p>補足データ</p>															
<p>運輸部門エネルギー消費原単位</p> <p>関連目標①③</p>	<p>平成 28 年度の道内の運輸部門エネルギー消費原単位は、旅客自動車（自家用・乗用車）のエネルギー消費量減少が全体を牽引し、前年度に比べ 0.6 ポイント減少。燃費性能の向上や、次世代自動車への切り替えが進んだためと推察。</p>  <table border="1"> <caption>運輸部門エネルギー消費原単位 (GJ/台)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費原単位 (GJ/台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>59.0</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>59.0</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>60.2</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>57.6</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>57.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	消費原単位 (GJ/台)	平成24年度	59.0	平成25年度	59.0	平成26年度	60.2	平成27年度	57.6	平成28年度	57.0		
年度	消費原単位 (GJ/台)														
平成24年度	59.0														
平成25年度	59.0														
平成26年度	60.2														
平成27年度	57.6														
平成28年度	57.0														
<p>補足データ</p>	<p>平成 29 年度のフロン類の回収量は、前年度と比べて約 9,000 kg 減少。</p>														
<p>フロン排出抑制法に基づくフロン類の回収量</p> <p>関連目標⑤</p>	 <table border="1"> <caption>フロン類の回収量 (kg)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回収量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>88,119</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>81,147</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>93,055</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>112,862</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>128,754</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>119,373</td> </tr> </tbody> </table>	年度	回収量 (kg)	平成24年度	88,119	平成25年度	81,147	平成26年度	93,055	平成27年度	112,862	平成28年度	128,754	平成29年度	119,373
年度	回収量 (kg)														
平成24年度	88,119														
平成25年度	81,147														
平成26年度	93,055														
平成27年度	112,862														
平成28年度	128,754														
平成29年度	119,373														

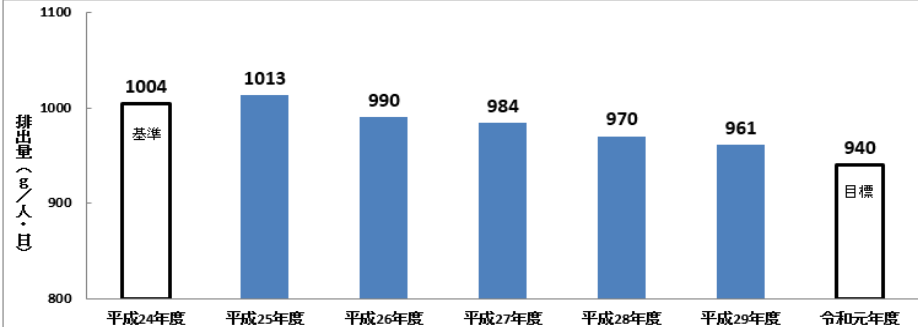
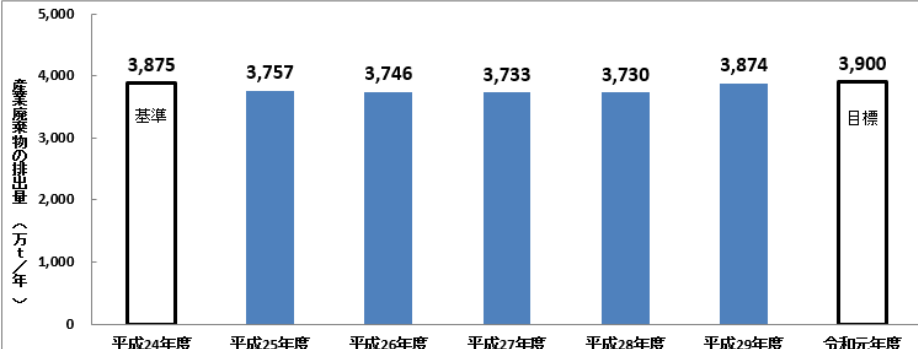
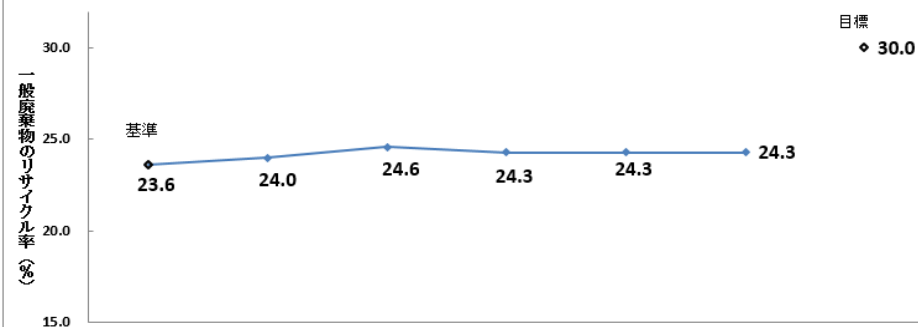
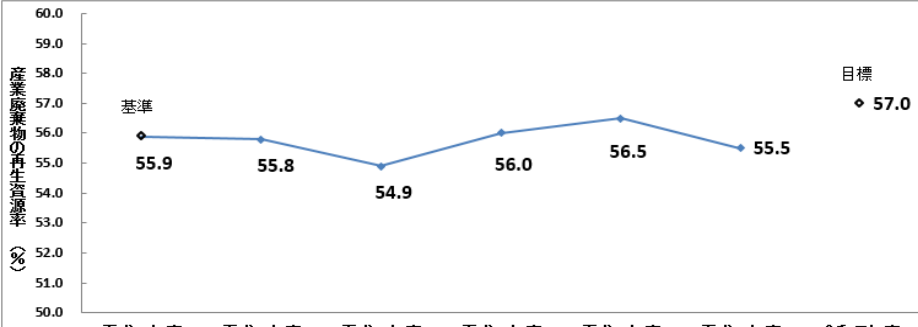
2 北海道らしい循環型社会の形成

■施策分野の目標とその達成状況

目標①	廃棄物等の発生・排出を抑制し、循環資源の循環的利用を推進する
達成状況	<p>一般廃棄物と産業廃棄物の合計最終処分量は基準年（平成24年度）に比べて約11.2ポイント（13万t）減少しているが、目標の達成に向けては遅れが見られる。なお、一人1日当たりの一般廃棄物排出量は基準年（平成24年度）に比べて約4.3%減少しており、目標の達成に向けおおむね順調に推移。一方、産業廃棄物の排出量は基準年（平成24年度）に比べほぼ同量であるが、現状では目標数値を満たしている。</p> <p>また、一般廃棄物のリサイクル率は基準年（平成24年度）に比べて0.7ポイント上昇しているが、目標の達成に向けては遅れが見られる。産業廃棄物の再生利用率は基準年（平成24年度）に比べて0.4ポイント減少しており、目標の達成に向けては遅れが見られる。</p> <p>引き続き、リサイクル施設の整備促進など3R推進のための仕組み・基盤を整備するとともに、道民・事業者等への3Rに関する普及啓発等に取り組むことが重要。</p>
目標②	廃棄物の適正処理を推進する
達成状況	<p>優良産業廃棄物処理業者の育成を推進しており、平成30年度の優良認定業者数は前年度と比べて7社増加。</p> <p>また、排出事業者や産業廃棄物処理業者への立入検査、監視・指導のほか、市町村等の一般廃棄物処理施設を含めた廃棄物処理施設の適正な維持管理等に係る指導を行い、廃棄物の適正処理を推進しているが、廃棄物の不法投棄等は依然として、後を絶たない状況にあり、フリーダイヤル産廃110番の効果的運用による通報体制の拡充など、市町村や関連機関等との連携による取組が重要。</p>
目標③	廃棄物系及び未利用バイオマスの利活用を推進する
達成状況	<p>廃棄物系バイオマスの利活用率は基準年（平成24年度）に比べて1.6ポイント上昇し、目標の達成に向けて順調に推移。</p> <p>未利用バイオマスの利活用率は基準年（平成24年度）に比べて11.1ポイント上昇しており、目標の達成に向けて順調に推移。</p>
目標④	リサイクル関連産業を振興し、循環型社会ビジネス市場の拡大を図る
達成状況	<p>北海道認定リサイクル製品は、日用品から土木建築資材等まで多様なものがあり、平成30年度までに196製品を認定し、近年、増加傾向を維持。</p> <p>また、循環資源利用促進税を活用して、リサイクル関連産業等への支援を行っている。</p>

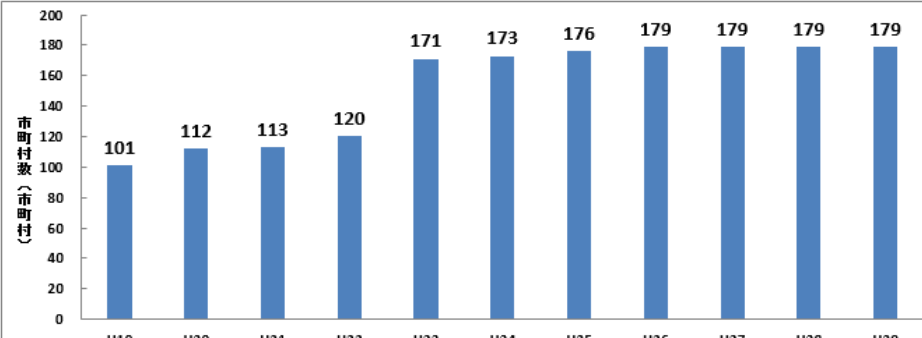
■ 関連指標群の状況

関連指標群	内 容																
<p style="text-align: center;">指標</p>	<p>基準年（平成 24 年度）の本道の循環利用率は、14.5%となっており、その後の状況については、北海道循環型社会形成推進基本計画の改定に併せて算定することとしている。</p>																
<p style="text-align: center;">循環利用率</p> <p style="text-align: center;">関連目標①</p>	<table border="1"> <caption>循環利用率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>循環利用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	循環利用率 (%)	平成24年度	14.5	令和元年度	16.0										
年度	循環利用率 (%)																
平成24年度	14.5																
令和元年度	16.0																
<p style="text-align: center;">指標</p>	<p>平成 29 年度年度の本道の廃棄物の最終処分量は、99.5 万 t【速報値】となっており、基準年（平成 24 年度）に比べ約 11.2%（13 万 t）減少しているが、目標の達成に向けては遅れが見られるため、更なる取組が必要。</p>																
<p style="text-align: center;">最終処分量</p> <p style="text-align: center;">関連目標①</p>	<table border="1"> <caption>最終処分量 (万t)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>最終処分量 (万t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>112.0</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>115.9</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>107.6</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>106.0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>106.0</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table>	年度	最終処分量 (万t)	平成24年度	112.0	平成25年度	115.9	平成26年度	107.6	平成27年度	106.0	平成28年度	106.0	平成29年度	99.5	令和元年度	86
年度	最終処分量 (万t)																
平成24年度	112.0																
平成25年度	115.9																
平成26年度	107.6																
平成27年度	106.0																
平成28年度	106.0																
平成29年度	99.5																
令和元年度	86																
<p style="text-align: center;">指標</p>	<p>平成 28 年度の本道の廃棄物系バイオマス利活用率は、89.8%となっており、前年より 0.4 ポイント減少したが、基準年（平成 24 年度）に比べ、1.6 ポイント上昇しており、目標の達成に向けて順調に推移。</p>																
<p style="text-align: center;">廃棄物系バイオマス 利活用率 (発生量ベース)</p> <p style="text-align: center;">関連目標③</p>	<table border="1"> <caption>廃棄物系バイオマス利活用率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利活用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>88.2</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>88.4</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>90.2</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>89.8</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利活用率 (%)	平成24年度	88.2	平成25年度	88.4	平成26年度	89.1	平成27年度	90.2	平成28年度	89.8	令和元年度	90.0		
年度	利活用率 (%)																
平成24年度	88.2																
平成25年度	88.4																
平成26年度	89.1																
平成27年度	90.2																
平成28年度	89.8																
令和元年度	90.0																
<p style="text-align: center;">指標</p>	<p>平成 28 年度の本道の未利用バイオマス利活用率は、71.5%となっており、基準年（平成 24 年度）に比べ、11.1 ポイント増加しており、目標を達成。</p>																
<p style="text-align: center;">廃棄物系バイオマス 利活用率 (発生量ベース)</p> <p style="text-align: center;">関連目標③</p>	<table border="1"> <caption>未利用バイオマス利活用率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利活用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>60.4</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>63.2</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>62.0</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>60.1</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>71.5</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利活用率 (%)	平成24年度	60.4	平成25年度	63.2	平成26年度	62.0	平成27年度	60.1	平成28年度	71.5	令和元年度	70.0		
年度	利活用率 (%)																
平成24年度	60.4																
平成25年度	63.2																
平成26年度	62.0																
平成27年度	60.1																
平成28年度	71.5																
令和元年度	70.0																

関連指標群	内 容																
<p>個別指標</p> <p>一般廃棄物の排出量 (一人1日当たり)</p> <p>関連目標①</p>	<p>平成29年度の本道の一般廃棄物の排出量(一人1日当たり)は、961gとなっており、基準年(平成24年度)に比べ、約4.3%(43g)減少しており、目標の達成に向けておおむね順調に推移。</p>  <table border="1"> <caption>一般廃棄物の排出量(一人1日当たり)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量(g/人・日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>1004</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1013</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>990</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>984</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>970</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>961</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>940</td> </tr> </tbody> </table>	年度	排出量(g/人・日)	平成24年度	1004	平成25年度	1013	平成26年度	990	平成27年度	984	平成28年度	970	平成29年度	961	令和元年度	940
年度	排出量(g/人・日)																
平成24年度	1004																
平成25年度	1013																
平成26年度	990																
平成27年度	984																
平成28年度	970																
平成29年度	961																
令和元年度	940																
<p>個別指標</p> <p>産業廃棄物の排出量</p> <p>関連目標①</p>	<p>平成29年度の本道の産業廃棄物の排出量は3,874万t[速報値]となっており、基準年(平成24年度)に比べほぼ同量であるが、現状においては目標数値を満たしている。</p>  <table border="1"> <caption>産業廃棄物の排出量</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量(万t/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>3,875</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3,757</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3,746</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3,733</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3,730</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>3,874</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,900</td> </tr> </tbody> </table>	年度	排出量(万t/年)	平成24年度	3,875	平成25年度	3,757	平成26年度	3,746	平成27年度	3,733	平成28年度	3,730	平成29年度	3,874	令和元年度	3,900
年度	排出量(万t/年)																
平成24年度	3,875																
平成25年度	3,757																
平成26年度	3,746																
平成27年度	3,733																
平成28年度	3,730																
平成29年度	3,874																
令和元年度	3,900																
<p>個別指標</p> <p>一般廃棄物の リサイクル率</p> <p>関連目標①</p>	<p>平成29年度の本道の一般廃棄物のリサイクル率は、24.3%となっており、基準年(平成24年度)に比べ、0.7ポイント上昇しているが、目標の達成に向けて更なる取組が必要。</p>  <table border="1"> <caption>一般廃棄物のリサイクル率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>リサイクル率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>23.6</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>24.0</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	リサイクル率(%)	平成24年度	23.6	平成25年度	24.0	平成26年度	24.6	平成27年度	24.3	平成28年度	24.3	平成29年度	24.3	令和元年度	30.0
年度	リサイクル率(%)																
平成24年度	23.6																
平成25年度	24.0																
平成26年度	24.6																
平成27年度	24.3																
平成28年度	24.3																
平成29年度	24.3																
令和元年度	30.0																
<p>個別指標</p> <p>産業廃棄物の 循環利用率</p> <p>関連目標①</p>	<p>平成29年度の本道の産業廃棄物の再生利用率は55.5%【速報値】となっており、基準年(平成24年度)に比べ0.4ポイント減少しており、目標の達成に向け遅れが見られており、更なる取組が必要。</p>  <table border="1"> <caption>産業廃棄物の再生利用率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>再生利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>55.9</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>55.8</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>54.9</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>56.0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>56.5</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>55.5</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>57.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	再生利用率(%)	平成24年度	55.9	平成25年度	55.8	平成26年度	54.9	平成27年度	56.0	平成28年度	56.5	平成29年度	55.5	令和元年度	57.0
年度	再生利用率(%)																
平成24年度	55.9																
平成25年度	55.8																
平成26年度	54.9																
平成27年度	56.0																
平成28年度	56.5																
平成29年度	55.5																
令和元年度	57.0																

関連指標群	内 容																																																																																																																			
補足データ																																																																																																																				
資源生産性	平成 24 年度の本道の資源生産性は、13.3 万円/トンとなっており、平成 19 年度から横ばいの状況。なお、その後の状況については、北海道循環型社会形成推進基本計画の改定に併せて算定することとしている。																																																																																																																			
関連指標①	<table border="1"> <caption>資源生産性 (万円/ト)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>資源生産性 (万円/ト)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>13.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	資源生産性 (万円/ト)	平成19年度	13.1	平成24年度	13.3																																																																																																													
年度	資源生産性 (万円/ト)																																																																																																																			
平成19年度	13.1																																																																																																																			
平成24年度	13.3																																																																																																																			
補足データ	平成 30 年度の本道の産業廃棄物処理業者の優良認定業者数は 54 社と、前年度と比べて 7 社増え、認定数は年々増加。																																																																																																																			
産業廃棄物処理業者の優良認定業者数	<table border="1"> <caption>優良認定業者数 (社)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>優良認定業者数 (社)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H15</td><td>0</td></tr> <tr><td>H16</td><td>0</td></tr> <tr><td>H17</td><td>0</td></tr> <tr><td>H18</td><td>7</td></tr> <tr><td>H19</td><td>12</td></tr> <tr><td>H20</td><td>14</td></tr> <tr><td>H21</td><td>18</td></tr> <tr><td>H22</td><td>18</td></tr> <tr><td>H23</td><td>21</td></tr> <tr><td>H24</td><td>22</td></tr> <tr><td>H25</td><td>28</td></tr> <tr><td>H26</td><td>36</td></tr> <tr><td>H27</td><td>42</td></tr> <tr><td>H28</td><td>46</td></tr> <tr><td>H29</td><td>47</td></tr> <tr><td>H30</td><td>54</td></tr> </tbody> </table>	年度	優良認定業者数 (社)	H15	0	H16	0	H17	0	H18	7	H19	12	H20	14	H21	18	H22	18	H23	21	H24	22	H25	28	H26	36	H27	42	H28	46	H29	47	H30	54																																																																																	
年度	優良認定業者数 (社)																																																																																																																			
H15	0																																																																																																																			
H16	0																																																																																																																			
H17	0																																																																																																																			
H18	7																																																																																																																			
H19	12																																																																																																																			
H20	14																																																																																																																			
H21	18																																																																																																																			
H22	18																																																																																																																			
H23	21																																																																																																																			
H24	22																																																																																																																			
H25	28																																																																																																																			
H26	36																																																																																																																			
H27	42																																																																																																																			
H28	46																																																																																																																			
H29	47																																																																																																																			
H30	54																																																																																																																			
補足データ	平成 28 年度の本道の廃棄物系バイオマスの発生量及び利活用量は、下表のとおり。 ※ 利活用率については指標 No.2-指-③のとおり。																																																																																																																			
廃棄物系バイオマスの種別ごとの発生量及び利活用量	<p>■ 廃棄物系バイオマスの発生量及び利活用率(H28)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">発生量(t)</th> <th colspan="2">利活用仕向量(t)</th> <th rowspan="2">利活用率</th> </tr> <tr> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">一般廃棄物</td> <td>紙類(一般廃棄物)</td> <td>1,232,948</td> <td>438,066</td> <td>678,000</td> <td>240,893</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td> 集団回収・業者回収</td> <td>678,000</td> <td>240,893</td> <td>678,000</td> <td>240,893</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td> 資源ごみ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 可燃・不燃・混合</td> <td>554,948</td> <td>197,173</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td> 生活系・事業系生ごみ</td> <td>518,529</td> <td>22,231</td> <td>57,252</td> <td>2,455</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>し尿等</td> <td>622,553</td> <td>7,889</td> <td>145,665</td> <td>1,846</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>2,374,030</td> <td>468,187</td> <td>880,917</td> <td>245,194</td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">産業廃棄物</td> <td>有機性汚泥</td> <td>6,263,467</td> <td>206,754</td> <td>5,823,377</td> <td>184,959</td> <td>89.5%</td> </tr> <tr> <td>下水汚泥</td> <td>4,466,182</td> <td>56,595</td> <td>3,862,242</td> <td>48,942</td> <td>86.5%</td> </tr> <tr> <td>紙 く ず</td> <td>21,239</td> <td>7,546</td> <td>10,039</td> <td>3,567</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>木 く ず</td> <td>355,976</td> <td>156,736</td> <td>321,583</td> <td>141,593</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>動植物性残さ(食料品)</td> <td>225,432</td> <td>93,364</td> <td>222,594</td> <td>92,188</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>家畜ふん尿</td> <td>19,304,606</td> <td>1,151,906</td> <td>19,302,062</td> <td>1,151,754</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>30,636,902</td> <td>1,672,901</td> <td>29,541,897</td> <td>1,623,003</td> <td>97.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>黒液</td> <td>1,878,410</td> <td>526,894</td> <td>1,878,410</td> <td>526,894</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃棄物系バイオマス計</td> <td>34,889,342</td> <td>2,667,982</td> <td>32,301,224</td> <td>2,395,091</td> <td>89.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	発生量(t)		利活用仕向量(t)		利活用率	湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算	一般廃棄物	紙類(一般廃棄物)	1,232,948	438,066	678,000	240,893	55.0%	集団回収・業者回収	678,000	240,893	678,000	240,893	100.0%	資源ごみ						可燃・不燃・混合	554,948	197,173	0	0	0.0%	生活系・事業系生ごみ	518,529	22,231	57,252	2,455	11.0%		し尿等	622,553	7,889	145,665	1,846	23.4%		小計	2,374,030	468,187	880,917	245,194	52.4%	産業廃棄物	有機性汚泥	6,263,467	206,754	5,823,377	184,959	89.5%	下水汚泥	4,466,182	56,595	3,862,242	48,942	86.5%	紙 く ず	21,239	7,546	10,039	3,567	47.3%	木 く ず	355,976	156,736	321,583	141,593	90.3%	動植物性残さ(食料品)	225,432	93,364	222,594	92,188	98.7%		家畜ふん尿	19,304,606	1,151,906	19,302,062	1,151,754	100.0%		小計	30,636,902	1,672,901	29,541,897	1,623,003	97.0%		黒液	1,878,410	526,894	1,878,410	526,894	100.0%		廃棄物系バイオマス計	34,889,342	2,667,982	32,301,224	2,395,091	89.8%
区分	種類			発生量(t)		利活用仕向量(t)			利活用率																																																																																																											
		湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算																																																																																																															
一般廃棄物	紙類(一般廃棄物)	1,232,948	438,066	678,000	240,893	55.0%																																																																																																														
	集団回収・業者回収	678,000	240,893	678,000	240,893	100.0%																																																																																																														
	資源ごみ																																																																																																																			
	可燃・不燃・混合	554,948	197,173	0	0	0.0%																																																																																																														
	生活系・事業系生ごみ	518,529	22,231	57,252	2,455	11.0%																																																																																																														
	し尿等	622,553	7,889	145,665	1,846	23.4%																																																																																																														
	小計	2,374,030	468,187	880,917	245,194	52.4%																																																																																																														
産業廃棄物	有機性汚泥	6,263,467	206,754	5,823,377	184,959	89.5%																																																																																																														
	下水汚泥	4,466,182	56,595	3,862,242	48,942	86.5%																																																																																																														
	紙 く ず	21,239	7,546	10,039	3,567	47.3%																																																																																																														
	木 く ず	355,976	156,736	321,583	141,593	90.3%																																																																																																														
	動植物性残さ(食料品)	225,432	93,364	222,594	92,188	98.7%																																																																																																														
	家畜ふん尿	19,304,606	1,151,906	19,302,062	1,151,754	100.0%																																																																																																														
	小計	30,636,902	1,672,901	29,541,897	1,623,003	97.0%																																																																																																														
	黒液	1,878,410	526,894	1,878,410	526,894	100.0%																																																																																																														
	廃棄物系バイオマス計	34,889,342	2,667,982	32,301,224	2,395,091	89.8%																																																																																																														
関連指標③																																																																																																																				

関連指標群	内 容																																																
補足データ 未利用バイオマスの種別ごとの発生量及び利活用量 関連指標③	<p>平成 28 年度の本道の未利用バイオマスの発生量及び利活用量は、下表のとおり。 ※ 利活用率については指標 No.2-指-④のとおり。</p> <p>■ 未利用バイオマスの発生量及び利活用率(H28)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">発生量(t)</th> <th colspan="2">利活用仕向量(t)</th> <th rowspan="2">利活用率</th> </tr> <tr> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">未利用</td> <td>農作物非食用部</td> <td>1,525,976</td> <td>436,887</td> <td>1,364,055</td> <td>390,529</td> <td>89.4%</td> </tr> <tr> <td> 稲わら</td> <td>569,057</td> <td>162,921</td> <td>544,659</td> <td>155,936</td> <td>95.7%</td> </tr> <tr> <td> もみ殻</td> <td>146,369</td> <td>41,905</td> <td>115,237</td> <td>32,992</td> <td>78.7%</td> </tr> <tr> <td> 麦かん</td> <td>810,550</td> <td>232,060</td> <td>704,159</td> <td>201,601</td> <td>86.9%</td> </tr> <tr> <td>林地残材</td> <td>940,000</td> <td>248,329</td> <td>376,000</td> <td>99,332</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>未利用バイオマス 計</td> <td>2,465,976</td> <td>685,216</td> <td>1,740,055</td> <td>489,861</td> <td>71.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	発生量(t)		利活用仕向量(t)		利活用率	湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算	未利用	農作物非食用部	1,525,976	436,887	1,364,055	390,529	89.4%	稲わら	569,057	162,921	544,659	155,936	95.7%	もみ殻	146,369	41,905	115,237	32,992	78.7%	麦かん	810,550	232,060	704,159	201,601	86.9%	林地残材	940,000	248,329	376,000	99,332	40.0%	未利用バイオマス 計	2,465,976	685,216	1,740,055	489,861	71.5%
区分	種類			発生量(t)		利活用仕向量(t)			利活用率																																								
		湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算																																												
未利用	農作物非食用部	1,525,976	436,887	1,364,055	390,529	89.4%																																											
	稲わら	569,057	162,921	544,659	155,936	95.7%																																											
	もみ殻	146,369	41,905	115,237	32,992	78.7%																																											
	麦かん	810,550	232,060	704,159	201,601	86.9%																																											
	林地残材	940,000	248,329	376,000	99,332	40.0%																																											
	未利用バイオマス 計	2,465,976	685,216	1,740,055	489,861	71.5%																																											
補足データ バイオガスプラント施設数 関連指標③	<p>平成 30 年度の本道のバイオガスプラント施設数は、139 基となっており、増加が続いている。</p> <table border="1"> <caption>バイオガスプラント施設数(基)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農業・畜産系</th> <th>都市廃棄物系</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>58</td> <td>35</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>65</td> <td>34</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>83</td> <td>34</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>92</td> <td>45</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>96</td> <td>43</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table>	年度	農業・畜産系	都市廃棄物系	合計	平成26年度	58	35	93	平成27年度	65	34	99	平成28年度	83	34	117	平成29年度	92	45	137	平成30年度	96	43	139																								
年度	農業・畜産系	都市廃棄物系	合計																																														
平成26年度	58	35	93																																														
平成27年度	65	34	99																																														
平成28年度	83	34	117																																														
平成29年度	92	45	137																																														
平成30年度	96	43	139																																														
補足データ バイオマス活用推進計画等策定市町村数 関連指標③	<p>平成 30 年度の本道のバイオマス活用推進計画等策定市町村数は、54 市町村となっており、策定市町村は年々増加。</p> <table border="1"> <caption>策定市町村数(市町村)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>策定市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	年度	策定市町村数	平成26年度	44	平成27年度	45	平成28年度	49	平成29年度	51	平成30年度	54																																				
年度	策定市町村数																																																
平成26年度	44																																																
平成27年度	45																																																
平成28年度	49																																																
平成29年度	51																																																
平成30年度	54																																																
補足データ 認定リサイクル製品数 関連指標④	<p>平成 30 年度までの北海道認定リサイクル製品数は 196 製品となっており、更新をせずに失効する製品もある中、毎年度認定製品数は増加。</p> <table border="1"> <caption>認定リサイクル製品数(製品数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認定製品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>196</td> </tr> </tbody> </table>	年度	認定製品数	H18	87	H19	95	H20	109	H21	115	H22	116	H23	118	H24	128	H25	136	H26	141	H27	142	H28	165	H29	182	H30	196																				
年度	認定製品数																																																
H18	87																																																
H19	95																																																
H20	109																																																
H21	115																																																
H22	116																																																
H23	118																																																
H24	128																																																
H25	136																																																
H26	141																																																
H27	142																																																
H28	165																																																
H29	182																																																
H30	196																																																

関連指標群	内 容																								
補足データ	平成 26 年度以降、グリーン購入を組織的に取り組んでいる市町村数は道内全市町村。																								
<p data-bbox="188 271 450 338">グリーン購入の 全庁的实施市町村数</p> <p data-bbox="245 376 392 409">関連指標④</p>	 <p data-bbox="497 414 518 548">市町村数 (市町村)</p> <table border="1" data-bbox="486 302 1412 638"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>101</td></tr> <tr><td>H20</td><td>112</td></tr> <tr><td>H21</td><td>113</td></tr> <tr><td>H22</td><td>120</td></tr> <tr><td>H23</td><td>171</td></tr> <tr><td>H24</td><td>173</td></tr> <tr><td>H25</td><td>176</td></tr> <tr><td>H26</td><td>179</td></tr> <tr><td>H27</td><td>179</td></tr> <tr><td>H28</td><td>179</td></tr> <tr><td>H29</td><td>179</td></tr> </tbody> </table>	年度	市町村数	H19	101	H20	112	H21	113	H22	120	H23	171	H24	173	H25	176	H26	179	H27	179	H28	179	H29	179
年度	市町村数																								
H19	101																								
H20	112																								
H21	113																								
H22	120																								
H23	171																								
H24	173																								
H25	176																								
H26	179																								
H27	179																								
H28	179																								
H29	179																								

3 自然との共生を基本とした環境の保全と創造

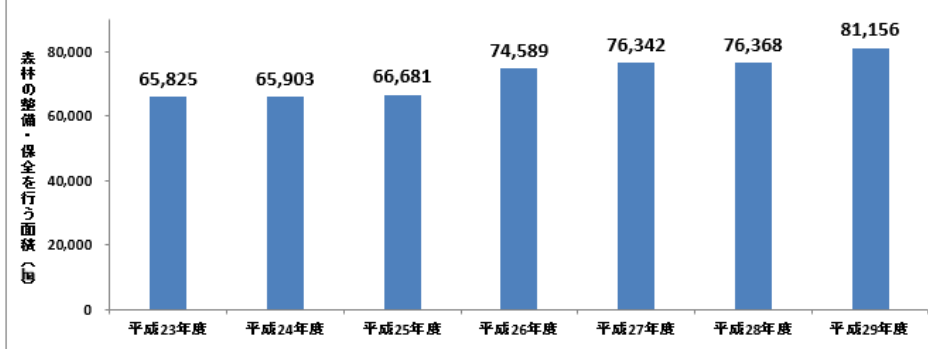
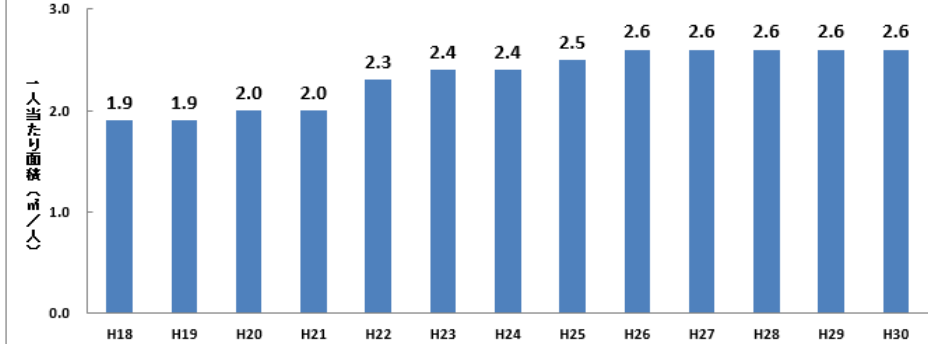
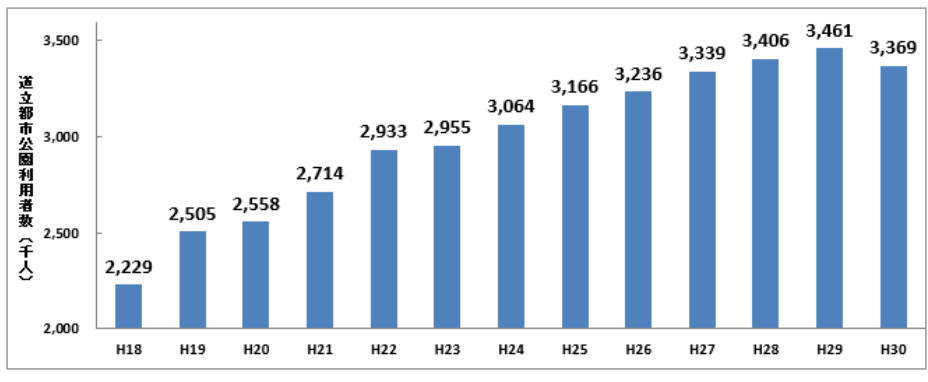
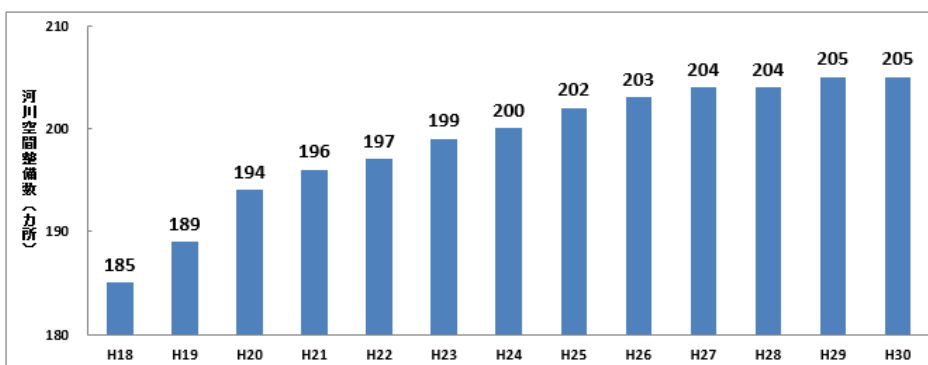
■施策分野の目標とその達成状況

目標①	自然公園や自然環境保全地域等のすぐれた自然を保全する
達成状況	<p>すぐれた自然地域の面積は近年横ばい状況であり、新たな地域指定や地域の拡大には関係市町村や機関との協議・調整が必要であることから時間を要している。</p> <p>また、こうした地域の保全のため、自然公園の施設整備を行うとともに、自然保護監視員、鳥獣保護員及び生物多様性保護監視員を配置し、自然公園や鳥獣保護区等における適切な保護管理等を行っている。</p>
目標②	森林、農地、水辺等が有する環境保全機能の維持増進を図る
達成状況	<p>多様な生態系や水源涵養機能を有する森林の保全や整備、豊かな生物をはぐくむ潤いのある河川環境の保全・整備を行い、積極的な生物多様性保全活動を促進。</p> <p>また、生物多様性の保全のため特に保全が求められる森林において設定する「生物多様性ゾーン」の面積は前年度と比べて増加しているが、未設定の市町村もあることから引き続き「生物多様性ゾーン」設定に向けた指導・助言が必要。</p>
目標③	みどりや水辺とのふれあいづくりを推進する
達成状況	<p>本道の一人当たりの広域都市公園面積は近年横ばいで、道立公園の利用者数は増加傾向を続けていたが、平成30年度は胆振東部地震や天候不順の影響により利用者が減少。</p> <p>緑化については、緑化活動団体等の自発的な活動の定着により、道民との協働による森林づくりの取組が進んでいる。</p> <p>また、水辺に集い憩える場が整備された河川空間の整備数も概ね順調に増加。</p>
目標④	北海道らしい広域的な景観づくりを推進する
達成状況	<p>市町村が独自の景観づくりを行うための情報提供等の支援を行うほか、市町村の景観行政団体への移行を促進するなど、「美しい景観のくに、北海道」を目指して、自然と調和した良好な景観形成を推進。</p> <p>また、田園、湖沼等が連続する景観を有する地域で、特に広域にわたる良好な景観の形成を推進する広域景観形成推進地域には、現在、羊蹄山麓広域景観形成地域が指定されている。</p>
目標⑤	自然環境の保全と適正な利用により、自然とのふれあいを推進する
達成状況	<p>本道の豊かですぐれた自然環境を今後も維持しながら利用できるよう、自然公園等において、必要な施設整備を行ってきた。それに伴い自然公園利用者数は、東日本大震災後の観光需要の回復などを受けて平成24年度から増加に転じていたが、平成30年度は胆振東部地震直後に、利用者数の大きな落ち込みが見られたものの徐々に回復し、最終的には前年度から約5%の減少に留まった。今後も観光需要の伸びにより利用者数の増加が見込まれることから、引き続き、すぐれた自然環境を適切に保護・管理するとともに、適正な利用を促進することが重要。</p>
目標⑥	動物愛護精神の普及を図る
達成状況	<p>動物の愛護及び管理に関する法律等の推進により、犬・猫の終生飼養など生命を尊重する動物愛護の意識が浸透し、引取数が減少したことや、道立保健所で引き取られた犬・猫の新しい飼い主を探す「新しい飼い主探しネットワーク事業」の推進や動物愛護団体などの協力により、平成30年度の犬・猫の安楽殺処分頭数は基準年（平成28年度）に比べ、約6.2%減少しており、目標を達成。</p>

目標⑦	希少野生動植物種の保護管理や、外来種による生態系等への影響低減などにより、生物多様性の確保を図る
達成状況	<p>道では平成30年度末現在、指定希少野生動植物種を27種（植物23種・昆虫4種）、また、この中で流通監視を必要とする特定希少野生動植物種を6種（植物6種）指定しているほか、生息・生育地を一体的に保護する生息地等保護区としてアボイ岳地区及び幌満岳地区にヒダカソウ生育地保護区を指定するとともに、ヒダカソウなどの指定希少野生動植物種の生育状況を把握するため、モニタリングを実施。</p> <p>また、国と連携して、国内希少野生動植物種に指定されているタンチョウの給餌事業を実施しており、タンチョウの個体数は近年、生息状況一斉調査で1,000羽を超える数が観察されているが、給餌場への集中により感染症の集団感染も懸念されることから、越冬地の分散などの取組を進めている。</p> <p>さらに、レッドリストの見直しを行い、平成30年度末までに、「哺乳類」、「両生類」、「爬虫類」、「昆虫（チョウ目、コウチュウ目）」、「鳥類」、「魚類」の6分類群について、道内に生息・生育する「野生動植物の目録」及び「改訂レッドリスト」を作成・公表するなど、希少野生動植物種の保護を総合的に進めている。</p> <p>外来種については、アライグマ等の生息域が拡大し、農業被害が発生しており、また、在来種への影響が懸念されている状況。このうち、アライグマの計画的で円滑な防除の実現に向けて、外来生物法に基づく防除実施計画の未策定市町村に対し策定を促した結果、平成30年度までに138市町村が計画を策定しているが、策定数は近年横ばいであり、更なる取組が必要。</p>
目標⑧	鳥獣の生息環境の保全や、鳥獣による農林水産業等被害の防止など、野生鳥獣の適正な保護管理を推進する
達成状況	<p>鳥獣の生息環境の保全については、自然保護監視員、鳥獣保護員及び生物多様性保護監視員を配置し、自然公園や鳥獣保護区等における適切な保護管理等を行っている。</p> <p>集落付近への出没や農作物被害が増加しているヒグマについては、「北海道ヒグマ管理計画」に基づき、人とヒグマのあつれき軽減とヒグマ地域個体群の存続を両立するため、ヒグマ保護管理研修会の開催やヒグマ個体群動態調査等の取組を進めている。</p> <p>多大な農林業被害等をもたらしているエゾシカについては、「北海道エゾシカ管理計画」に基づき、より効果的な捕獲と捕獲個体の有効活用をあわせて推進し、生息数の減少に必要な捕獲数を設定しながら適正な管理を行っている。エゾシカ個体数指数は、東部地域については着実に減少しているものの依然として高水準にあり、西部地域については、平成24年度以降は一旦減少傾向が見られたものの、平成27年度から再び増加に転じた可能性があるなど、目標の達成に向けて遅れが見られている。</p> <p>また、アザラシ類による漁業被害は平成27年度をピークに減少しているが依然として高水準にあり、環境省はゼニガタアザラシについて、えりも地域における個体群と漁業の共存のため保護管理計画を策定、道においても、国の計画を踏まえ、全道域の「北海道アザラシ管理計画」に基づき漁業被害の軽減と人とアザラシ類との共存を目指している。</p>

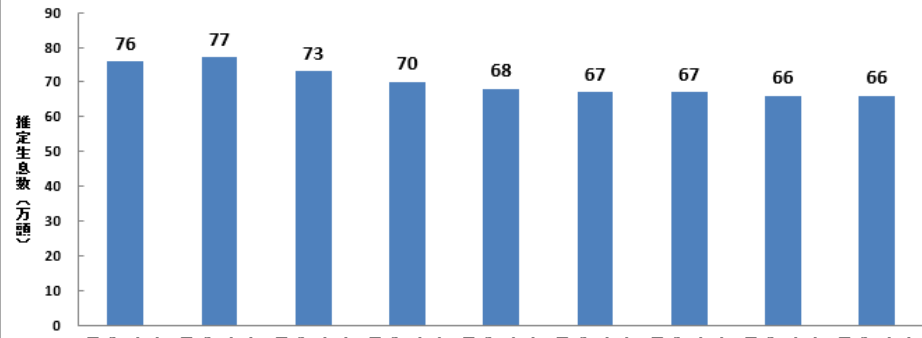
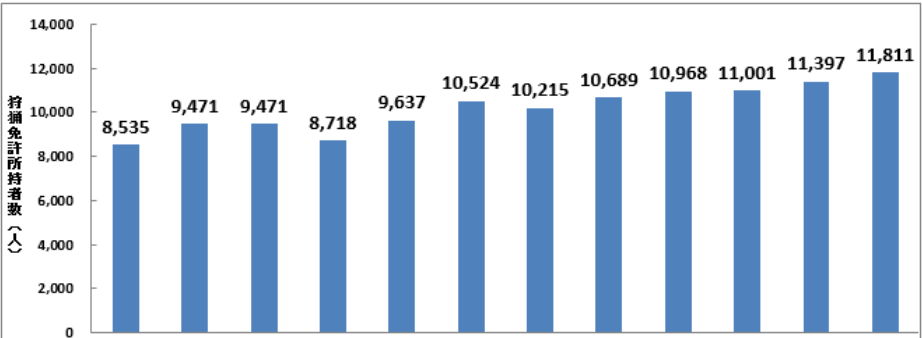
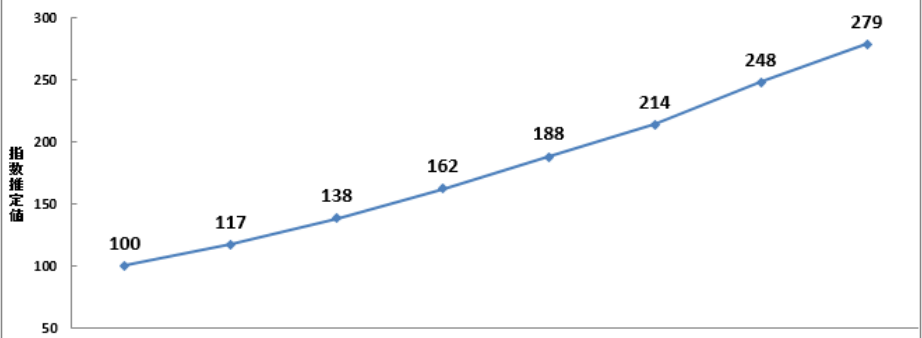
■ 関連指標群の状況

関連指標群	内 容																																																								
<p>個別指標</p> <p>犬・猫の安楽殺処分頭数</p> <p>関連目標⑥</p>	<p>平成 30 年度の本道の犬・猫の安楽殺処分頭数は、443 頭となっており、基準年（平成 28 年度）に比べ、約 62%（715 頭）減少し、目標を達成。</p> <table border="1"> <caption>犬・猫の安楽殺処分頭数 (頭)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>頭数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>9,786</td></tr> <tr><td>H19</td><td>8,515</td></tr> <tr><td>H20</td><td>8,111</td></tr> <tr><td>H21</td><td>7,409</td></tr> <tr><td>H22</td><td>7,435</td></tr> <tr><td>H23</td><td>5,628</td></tr> <tr><td>H24</td><td>4,329</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,060</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,353</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,646</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,158 (基準)</td></tr> <tr><td>H29</td><td>708</td></tr> <tr><td>H30</td><td>443</td></tr> <tr><td>R9</td><td>579 (目標)</td></tr> </tbody> </table>	年度	頭数	H18	9,786	H19	8,515	H20	8,111	H21	7,409	H22	7,435	H23	5,628	H24	4,329	H25	3,060	H26	2,353	H27	1,646	H28	1,158 (基準)	H29	708	H30	443	R9	579 (目標)																										
年度	頭数																																																								
H18	9,786																																																								
H19	8,515																																																								
H20	8,111																																																								
H21	7,409																																																								
H22	7,435																																																								
H23	5,628																																																								
H24	4,329																																																								
H25	3,060																																																								
H26	2,353																																																								
H27	1,646																																																								
H28	1,158 (基準)																																																								
H29	708																																																								
H30	443																																																								
R9	579 (目標)																																																								
<p>個別指標</p> <p>エゾシカ個体数指数 (東部地域)</p> <p>関連目標⑧</p>	<p>北海道東部地域におけるエゾシカの生息状況は依然として高水準にあるが、着実に減少。</p> <table border="1"> <caption>エゾシカ個体数指数 (東部地域)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H5</td><td>100</td></tr> <tr><td>H6</td><td>112</td></tr> <tr><td>H7</td><td>126</td></tr> <tr><td>H8</td><td>131</td></tr> <tr><td>H9</td><td>138</td></tr> <tr><td>H10</td><td>137</td></tr> <tr><td>H11</td><td>120</td></tr> <tr><td>H12</td><td>114</td></tr> <tr><td>H13</td><td>110</td></tr> <tr><td>H14</td><td>115</td></tr> <tr><td>H15</td><td>121</td></tr> <tr><td>H16</td><td>125</td></tr> <tr><td>H17</td><td>130</td></tr> <tr><td>H18</td><td>134</td></tr> <tr><td>H19</td><td>143</td></tr> <tr><td>H20</td><td>152</td></tr> <tr><td>H21</td><td>161</td></tr> <tr><td>H22</td><td>164</td></tr> <tr><td>H23</td><td>167</td></tr> <tr><td>H24</td><td>160</td></tr> <tr><td>H25</td><td>146</td></tr> <tr><td>H26</td><td>142</td></tr> <tr><td>H27</td><td>135</td></tr> <tr><td>H28</td><td>130</td></tr> <tr><td>H29</td><td>126</td></tr> <tr><td>H30</td><td>120</td></tr> <tr><td>R3</td><td>50以下 (目標)</td></tr> </tbody> </table>	年度	指数	H5	100	H6	112	H7	126	H8	131	H9	138	H10	137	H11	120	H12	114	H13	110	H14	115	H15	121	H16	125	H17	130	H18	134	H19	143	H20	152	H21	161	H22	164	H23	167	H24	160	H25	146	H26	142	H27	135	H28	130	H29	126	H30	120	R3	50以下 (目標)
年度	指数																																																								
H5	100																																																								
H6	112																																																								
H7	126																																																								
H8	131																																																								
H9	138																																																								
H10	137																																																								
H11	120																																																								
H12	114																																																								
H13	110																																																								
H14	115																																																								
H15	121																																																								
H16	125																																																								
H17	130																																																								
H18	134																																																								
H19	143																																																								
H20	152																																																								
H21	161																																																								
H22	164																																																								
H23	167																																																								
H24	160																																																								
H25	146																																																								
H26	142																																																								
H27	135																																																								
H28	130																																																								
H29	126																																																								
H30	120																																																								
R3	50以下 (目標)																																																								
<p>個別指標</p> <p>エゾシカ個体数指数 (西部地域)</p> <p>関連目標⑧</p>	<p>北海道西部地域におけるエゾシカの生息状況は、平成 24 年度以降は一旦減少傾向が見られたが、平成 27 年度から 28 年度にかけて再び増加に転じた可能性があり、目標の達成に向けてより一層の取組が必要。</p> <table border="1"> <caption>エゾシカ個体数指数 (西部地域)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H12</td><td>100</td></tr> <tr><td>H13</td><td>112</td></tr> <tr><td>H14</td><td>126</td></tr> <tr><td>H15</td><td>146</td></tr> <tr><td>H16</td><td>167</td></tr> <tr><td>H17</td><td>186</td></tr> <tr><td>H18</td><td>204</td></tr> <tr><td>H19</td><td>223</td></tr> <tr><td>H20</td><td>246</td></tr> <tr><td>H21</td><td>269</td></tr> <tr><td>H22</td><td>281</td></tr> <tr><td>H23</td><td>292</td></tr> <tr><td>H24</td><td>277</td></tr> <tr><td>H25</td><td>260</td></tr> <tr><td>H26</td><td>255</td></tr> <tr><td>H27</td><td>253 (基準)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>259</td></tr> <tr><td>H29</td><td>263</td></tr> <tr><td>H30</td><td>264</td></tr> <tr><td>R3</td><td>150以下 (目標)</td></tr> </tbody> </table>	年度	指数	H12	100	H13	112	H14	126	H15	146	H16	167	H17	186	H18	204	H19	223	H20	246	H21	269	H22	281	H23	292	H24	277	H25	260	H26	255	H27	253 (基準)	H28	259	H29	263	H30	264	R3	150以下 (目標)														
年度	指数																																																								
H12	100																																																								
H13	112																																																								
H14	126																																																								
H15	146																																																								
H16	167																																																								
H17	186																																																								
H18	204																																																								
H19	223																																																								
H20	246																																																								
H21	269																																																								
H22	281																																																								
H23	292																																																								
H24	277																																																								
H25	260																																																								
H26	255																																																								
H27	253 (基準)																																																								
H28	259																																																								
H29	263																																																								
H30	264																																																								
R3	150以下 (目標)																																																								
<p>補足データ</p> <p>すぐれた自然地域の面積</p> <p>関連目標①</p>	<p>本道のすぐれた自然地域の面積は近年、横ばい状況であるが、新たな地域指定や地域の拡大には、関係する市町村や機関との継続した協議や調整が必要であり、時間を要している状況。 ※ 自然公園(国立公園・国定公園・道立自然公園)及び自然環境保全地域等の面積合計</p> <table border="1"> <caption>すぐれた自然地域の面積 (千ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>893</td></tr> <tr><td>H19</td><td>893</td></tr> <tr><td>H20</td><td>893</td></tr> <tr><td>H21</td><td>893</td></tr> <tr><td>H22</td><td>893</td></tr> <tr><td>H23</td><td>895</td></tr> <tr><td>H24</td><td>895</td></tr> <tr><td>H25</td><td>895</td></tr> <tr><td>H26</td><td>895</td></tr> <tr><td>H27</td><td>895</td></tr> <tr><td>H28</td><td>895</td></tr> <tr><td>H29</td><td>896</td></tr> <tr><td>H30</td><td>896</td></tr> </tbody> </table>	年度	面積	H18	893	H19	893	H20	893	H21	893	H22	893	H23	895	H24	895	H25	895	H26	895	H27	895	H28	895	H29	896	H30	896																												
年度	面積																																																								
H18	893																																																								
H19	893																																																								
H20	893																																																								
H21	893																																																								
H22	893																																																								
H23	895																																																								
H24	895																																																								
H25	895																																																								
H26	895																																																								
H27	895																																																								
H28	895																																																								
H29	896																																																								
H30	896																																																								

関連指標群	内 容																												
<p data-bbox="245 232 389 268">補足データ</p> <p data-bbox="188 291 446 430">森林所有者等が 生物多様性保全の ため特に森林の整備 ・保全を行う面積</p> <p data-bbox="245 470 389 506">関連目標②</p>	<p data-bbox="480 219 1412 309">生物多様性の保全のため特に保全が求められる森林において設定する「生物多様性ゾーン」の面積は前年度と比べて増加しているが、未設定の市町村もあることから引き続き「生物多様性ゾーン」設定に向けた指導・助言が必要。</p>  <table border="1" data-bbox="480 313 1412 660"> <caption>森林の整備・保全を行う面積(㎡)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積(㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成23年度</td><td>65,825</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>65,903</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>66,681</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>74,589</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>76,342</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>76,368</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>81,156</td></tr> </tbody> </table>	年度	面積(㎡)	平成23年度	65,825	平成24年度	65,903	平成25年度	66,681	平成26年度	74,589	平成27年度	76,342	平成28年度	76,368	平成29年度	81,156												
年度	面積(㎡)																												
平成23年度	65,825																												
平成24年度	65,903																												
平成25年度	66,681																												
平成26年度	74,589																												
平成27年度	76,342																												
平成28年度	76,368																												
平成29年度	81,156																												
<p data-bbox="245 689 389 725">補足データ</p> <p data-bbox="204 743 430 810">一人当たり 広域都市公園面積</p> <p data-bbox="245 851 389 887">関連指標③</p>	<p data-bbox="480 678 1412 739">平成 30 年度末の本道の一人当たりの広域都市公園面積は、2.6m²/人となっており、平成 26 年度以降は横ばいの状況。</p>  <table border="1" data-bbox="480 743 1412 1086"> <caption>一人当たり面積(㎡/人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積(㎡/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>H19</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>H20</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>H21</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>H22</td><td>2.3</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>H24</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2.6</td></tr> </tbody> </table>	年度	面積(㎡/人)	H18	1.9	H19	1.9	H20	2.0	H21	2.0	H22	2.3	H23	2.4	H24	2.4	H25	2.5	H26	2.6	H27	2.6	H28	2.6	H29	2.6	H30	2.6
年度	面積(㎡/人)																												
H18	1.9																												
H19	1.9																												
H20	2.0																												
H21	2.0																												
H22	2.3																												
H23	2.4																												
H24	2.4																												
H25	2.5																												
H26	2.6																												
H27	2.6																												
H28	2.6																												
H29	2.6																												
H30	2.6																												
<p data-bbox="245 1108 389 1144">補足データ</p> <p data-bbox="204 1149 430 1184">道立公園利用者数</p> <p data-bbox="245 1225 389 1261">関連目標③</p>	<p data-bbox="480 1097 1412 1158">都市公園のうち道立公園については、順調に利用者数が増加を続けていたが、平成 30 年度は胆振東部地震や天候不順等の影響により、利用者が減少。</p>  <table border="1" data-bbox="480 1176 1412 1556"> <caption>道立都市公園利用者数(千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>2,229</td></tr> <tr><td>H19</td><td>2,505</td></tr> <tr><td>H20</td><td>2,558</td></tr> <tr><td>H21</td><td>2,714</td></tr> <tr><td>H22</td><td>2,933</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2,955</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,064</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,166</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,236</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,339</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,406</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,461</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,369</td></tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(千人)	H18	2,229	H19	2,505	H20	2,558	H21	2,714	H22	2,933	H23	2,955	H24	3,064	H25	3,166	H26	3,236	H27	3,339	H28	3,406	H29	3,461	H30	3,369
年度	利用者数(千人)																												
H18	2,229																												
H19	2,505																												
H20	2,558																												
H21	2,714																												
H22	2,933																												
H23	2,955																												
H24	3,064																												
H25	3,166																												
H26	3,236																												
H27	3,339																												
H28	3,406																												
H29	3,461																												
H30	3,369																												
<p data-bbox="245 1581 389 1617">補足データ</p> <p data-bbox="220 1621 421 1688">水辺に親しめる 河川空間整備数</p> <p data-bbox="245 1729 389 1765">関連指標③</p>	<p data-bbox="480 1570 1412 1637">本道の水辺に親しめる河川空間整備数は、平成 30 年度までに 205 力所となっており、着実に整備を進めている状況。</p>  <table border="1" data-bbox="480 1641 1412 2004"> <caption>河川空間整備数(力所)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>整備数(力所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>185</td></tr> <tr><td>H19</td><td>189</td></tr> <tr><td>H20</td><td>194</td></tr> <tr><td>H21</td><td>196</td></tr> <tr><td>H22</td><td>197</td></tr> <tr><td>H23</td><td>199</td></tr> <tr><td>H24</td><td>200</td></tr> <tr><td>H25</td><td>202</td></tr> <tr><td>H26</td><td>203</td></tr> <tr><td>H27</td><td>204</td></tr> <tr><td>H28</td><td>204</td></tr> <tr><td>H29</td><td>205</td></tr> <tr><td>H30</td><td>205</td></tr> </tbody> </table>	年度	整備数(力所)	H18	185	H19	189	H20	194	H21	196	H22	197	H23	199	H24	200	H25	202	H26	203	H27	204	H28	204	H29	205	H30	205
年度	整備数(力所)																												
H18	185																												
H19	189																												
H20	194																												
H21	196																												
H22	197																												
H23	199																												
H24	200																												
H25	202																												
H26	203																												
H27	204																												
H28	204																												
H29	205																												
H30	205																												

関連指標群	内 容																																
<p>補足データ</p> <p>道民との協働により 育てる樹木の本数</p> <p>関連指標③</p>	<p>平成 20 年度から平成 27 年度までの道民との協働により育てる樹木の本数は累計約 560 万本となっている。なお、近年緑化活動団体等の自発的な活動の定着が進んできていることから、平成 27 年度実績をもって調査を終了。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>植樹・育樹累計本数(万本)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成20年度</td><td>87</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>167</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>242</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>324</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>391</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>451</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>503</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>560</td></tr> </tbody> </table>	年度	植樹・育樹累計本数(万本)	平成20年度	87	平成21年度	167	平成22年度	242	平成23年度	324	平成24年度	391	平成25年度	451	平成26年度	503	平成27年度	560														
年度	植樹・育樹累計本数(万本)																																
平成20年度	87																																
平成21年度	167																																
平成22年度	242																																
平成23年度	324																																
平成24年度	391																																
平成25年度	451																																
平成26年度	503																																
平成27年度	560																																
<p>補足データ</p> <p>景観行政団体 移行市町村数</p> <p>関連指標④</p>	<p>景観行政団体への移行市町村は、平成 30 年度までに 17 団体となっており、近年微増傾向にあるが、一層の移行に向けて取り組む必要。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指定市町村数(市町村)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>8</td></tr> <tr><td>H19</td><td>11</td></tr> <tr><td>H20</td><td>12</td></tr> <tr><td>H21</td><td>12</td></tr> <tr><td>H22</td><td>12</td></tr> <tr><td>H23</td><td>13</td></tr> <tr><td>H24</td><td>13</td></tr> <tr><td>H25</td><td>14</td></tr> <tr><td>H26</td><td>15</td></tr> <tr><td>H27</td><td>16</td></tr> <tr><td>H28</td><td>16</td></tr> <tr><td>H29</td><td>17</td></tr> <tr><td>H30</td><td>17</td></tr> </tbody> </table>	年度	指定市町村数(市町村)	H18	8	H19	11	H20	12	H21	12	H22	12	H23	13	H24	13	H25	14	H26	15	H27	16	H28	16	H29	17	H30	17				
年度	指定市町村数(市町村)																																
H18	8																																
H19	11																																
H20	12																																
H21	12																																
H22	12																																
H23	13																																
H24	13																																
H25	14																																
H26	15																																
H27	16																																
H28	16																																
H29	17																																
H30	17																																
<p>補足データ</p> <p>自然公園利用者数</p> <p>関連指標⑤</p>	<p>平成 30 年度の本道の自然公園利用者数は胆振東部地震等、自然災害の影響から前年度より約 160 万人の減少（対前年比 95%）となったが、今後とも微増傾向で推移するものと考えられる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H16</td><td>4,562</td></tr> <tr><td>H17</td><td>4,690</td></tr> <tr><td>H18</td><td>4,465</td></tr> <tr><td>H19</td><td>4,247</td></tr> <tr><td>H20</td><td>3,680</td></tr> <tr><td>H21</td><td>3,517</td></tr> <tr><td>H22</td><td>3,401</td></tr> <tr><td>H23</td><td>3,052</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,207</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,357</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,372</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,504</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,437</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,485</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,323</td></tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(万人)	H16	4,562	H17	4,690	H18	4,465	H19	4,247	H20	3,680	H21	3,517	H22	3,401	H23	3,052	H24	3,207	H25	3,357	H26	3,372	H27	3,504	H28	3,437	H29	3,485	H30	3,323
年度	利用者数(万人)																																
H16	4,562																																
H17	4,690																																
H18	4,465																																
H19	4,247																																
H20	3,680																																
H21	3,517																																
H22	3,401																																
H23	3,052																																
H24	3,207																																
H25	3,357																																
H26	3,372																																
H27	3,504																																
H28	3,437																																
H29	3,485																																
H30	3,323																																
<p>補足データ</p> <p>自然保護監視員等の 人数と監視延べ日数</p> <p>関連指標①⑤</p>	<p>平成 30 年度の本道の自然保護監視員等の人数は 421 人（実人員）と近年は概ね横ばいの状況。また、監視延べ日数は予算の削減に伴い 7,458 日と漸減したものの、効果的な巡視に努めている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>自然保護監視員等(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H17</td><td>546</td></tr> <tr><td>H18</td><td>486</td></tr> <tr><td>H19</td><td>474</td></tr> <tr><td>H20</td><td>469</td></tr> <tr><td>H21</td><td>457</td></tr> <tr><td>H22</td><td>451</td></tr> <tr><td>H23</td><td>444</td></tr> <tr><td>H24</td><td>435</td></tr> <tr><td>H25</td><td>430</td></tr> <tr><td>H26</td><td>432</td></tr> <tr><td>H27</td><td>431</td></tr> <tr><td>H28</td><td>431</td></tr> <tr><td>H29</td><td>427</td></tr> <tr><td>H30</td><td>421</td></tr> </tbody> </table>	年度	自然保護監視員等(人)	H17	546	H18	486	H19	474	H20	469	H21	457	H22	451	H23	444	H24	435	H25	430	H26	432	H27	431	H28	431	H29	427	H30	421		
年度	自然保護監視員等(人)																																
H17	546																																
H18	486																																
H19	474																																
H20	469																																
H21	457																																
H22	451																																
H23	444																																
H24	435																																
H25	430																																
H26	432																																
H27	431																																
H28	431																																
H29	427																																
H30	421																																

関連指標	内 容																																																																														
<p>補足データ</p> <p>タンチョウの生息数</p> <p>関連目標⑦</p>	<p>生息状況の一斉調査により観察されたタンチョウ生息数の平成 28～30 年度の 3 年間の平均値は、1,135 羽。なお、この調査は天候の状況等により観察数に大きな変動があるため、生息数をそのまま示すものではない。</p> <table border="1"> <caption>タンチョウの生息数 (3カ年平均値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生息数 (羽)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H16～18</td><td>920</td></tr> <tr><td>H17～19</td><td>964</td></tr> <tr><td>H18～20</td><td>959</td></tr> <tr><td>H19～21</td><td>863</td></tr> <tr><td>H20～22</td><td>862</td></tr> <tr><td>H21～23</td><td>888</td></tr> <tr><td>H22～24</td><td>1,034</td></tr> <tr><td>H23～25</td><td>1,155</td></tr> <tr><td>H24～26</td><td>1,170</td></tr> <tr><td>H25～27</td><td>1,222</td></tr> <tr><td>H26～28</td><td>1,248</td></tr> <tr><td>H27～29</td><td>1,231</td></tr> <tr><td>H28～30</td><td>1,135</td></tr> </tbody> </table>	年度	生息数 (羽)	H16～18	920	H17～19	964	H18～20	959	H19～21	863	H20～22	862	H21～23	888	H22～24	1,034	H23～25	1,155	H24～26	1,170	H25～27	1,222	H26～28	1,248	H27～29	1,231	H28～30	1,135																																																		
年度	生息数 (羽)																																																																														
H16～18	920																																																																														
H17～19	964																																																																														
H18～20	959																																																																														
H19～21	863																																																																														
H20～22	862																																																																														
H21～23	888																																																																														
H22～24	1,034																																																																														
H23～25	1,155																																																																														
H24～26	1,170																																																																														
H25～27	1,222																																																																														
H26～28	1,248																																																																														
H27～29	1,231																																																																														
H28～30	1,135																																																																														
<p>補足データ</p> <p>野生動植物の目録を作成した分類群の数</p> <p>関連目標⑦</p>	<p>平成 26 年度に目録を作成する方針を定め、平成 30 年度までに本道の野生動植物の目録を作成した分類群の数は「哺乳類」、「両生類」、「爬虫類」、「昆虫 (チョウ目)、(コウチュウ目)」、「鳥類」、「魚類」の 6 つ。</p> <table border="1"> <caption>野生動植物の目録を作成した分類群の数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目録を作成した分類群の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成27年度</td><td>2</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>6</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>	年度	目録を作成した分類群の数	平成27年度	2	平成28年度	4	平成29年度	6	平成30年度	6																																																																				
年度	目録を作成した分類群の数																																																																														
平成27年度	2																																																																														
平成28年度	4																																																																														
平成29年度	6																																																																														
平成30年度	6																																																																														
<p>補足データ</p> <p>「アライグマ防除実施計画」の策定市町村数</p> <p>関連指標⑦</p>	<p>「アライグマ防除実施計画」を策定している道内の市町村は平成 30 年度で 138 市町村となっており、近年は横ばいの状況。</p> <table border="1"> <caption>「アライグマ防除実施計画」の策定市町村数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>65</td></tr> <tr><td>H19</td><td>77</td></tr> <tr><td>H20</td><td>91</td></tr> <tr><td>H21</td><td>101</td></tr> <tr><td>H22</td><td>105</td></tr> <tr><td>H23</td><td>114</td></tr> <tr><td>H24</td><td>117</td></tr> <tr><td>H25</td><td>125</td></tr> <tr><td>H26</td><td>127</td></tr> <tr><td>H27</td><td>134</td></tr> <tr><td>H28</td><td>136</td></tr> <tr><td>H29</td><td>136</td></tr> <tr><td>H30</td><td>138</td></tr> </tbody> </table>	年度	市町村数	H18	65	H19	77	H20	91	H21	101	H22	105	H23	114	H24	117	H25	125	H26	127	H27	134	H28	136	H29	136	H30	138																																																		
年度	市町村数																																																																														
H18	65																																																																														
H19	77																																																																														
H20	91																																																																														
H21	101																																																																														
H22	105																																																																														
H23	114																																																																														
H24	117																																																																														
H25	125																																																																														
H26	127																																																																														
H27	134																																																																														
H28	136																																																																														
H29	136																																																																														
H30	138																																																																														
<p>補足データ</p> <p>エゾシカ捕獲数及び農林業被害額</p> <p>関連目標⑧</p>	<p>道では捕獲対策の強化を図っており、平成 30 年度のエゾシカ捕獲数は約 11 万頭【速報値】。また、平成 30 年度のエゾシカによる農林業被害額は約 39 億円。</p> <table border="1"> <caption>エゾシカ捕獲数及び農林業被害額</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>捕獲数 (頭)</th> <th>被害額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H6</td><td>3,284</td><td>28,962</td></tr> <tr><td>H7</td><td>4,056</td><td>40,393</td></tr> <tr><td>H8</td><td>5,005</td><td>46,634</td></tr> <tr><td>H9</td><td>4,903</td><td>54,886</td></tr> <tr><td>H10</td><td>4,476</td><td>84,529</td></tr> <tr><td>H11</td><td>3,839</td><td>71,008</td></tr> <tr><td>H12</td><td>3,583</td><td>60,645</td></tr> <tr><td>H13</td><td>3,113</td><td>59,883</td></tr> <tr><td>H14</td><td>2,940</td><td>60,495</td></tr> <tr><td>H15</td><td>2,869</td><td>69,708</td></tr> <tr><td>H16</td><td>2,791</td><td>71,546</td></tr> <tr><td>H17</td><td>2,829</td><td>78,357</td></tr> <tr><td>H18</td><td>3,082</td><td>72,956</td></tr> <tr><td>H19</td><td>3,244</td><td>82,972</td></tr> <tr><td>H20</td><td>4,045</td><td>97,356</td></tr> <tr><td>H21</td><td>5,082</td><td>109,120</td></tr> <tr><td>H22</td><td>5,944</td><td>137,632</td></tr> <tr><td>H23</td><td>6,409</td><td>144,414</td></tr> <tr><td>H24</td><td>6,204</td><td>132,239</td></tr> <tr><td>H25</td><td>5,563</td><td>137,021</td></tr> <tr><td>H26</td><td>4,613</td><td>124,626</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,254</td><td>120,413</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,917</td><td>128,104</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,928</td><td>110,933</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,855</td><td>110,933</td></tr> </tbody> </table>	年度	捕獲数 (頭)	被害額 (百万円)	H6	3,284	28,962	H7	4,056	40,393	H8	5,005	46,634	H9	4,903	54,886	H10	4,476	84,529	H11	3,839	71,008	H12	3,583	60,645	H13	3,113	59,883	H14	2,940	60,495	H15	2,869	69,708	H16	2,791	71,546	H17	2,829	78,357	H18	3,082	72,956	H19	3,244	82,972	H20	4,045	97,356	H21	5,082	109,120	H22	5,944	137,632	H23	6,409	144,414	H24	6,204	132,239	H25	5,563	137,021	H26	4,613	124,626	H27	4,254	120,413	H28	3,917	128,104	H29	3,928	110,933	H30	3,855	110,933
年度	捕獲数 (頭)	被害額 (百万円)																																																																													
H6	3,284	28,962																																																																													
H7	4,056	40,393																																																																													
H8	5,005	46,634																																																																													
H9	4,903	54,886																																																																													
H10	4,476	84,529																																																																													
H11	3,839	71,008																																																																													
H12	3,583	60,645																																																																													
H13	3,113	59,883																																																																													
H14	2,940	60,495																																																																													
H15	2,869	69,708																																																																													
H16	2,791	71,546																																																																													
H17	2,829	78,357																																																																													
H18	3,082	72,956																																																																													
H19	3,244	82,972																																																																													
H20	4,045	97,356																																																																													
H21	5,082	109,120																																																																													
H22	5,944	137,632																																																																													
H23	6,409	144,414																																																																													
H24	6,204	132,239																																																																													
H25	5,563	137,021																																																																													
H26	4,613	124,626																																																																													
H27	4,254	120,413																																																																													
H28	3,917	128,104																																																																													
H29	3,928	110,933																																																																													
H30	3,855	110,933																																																																													

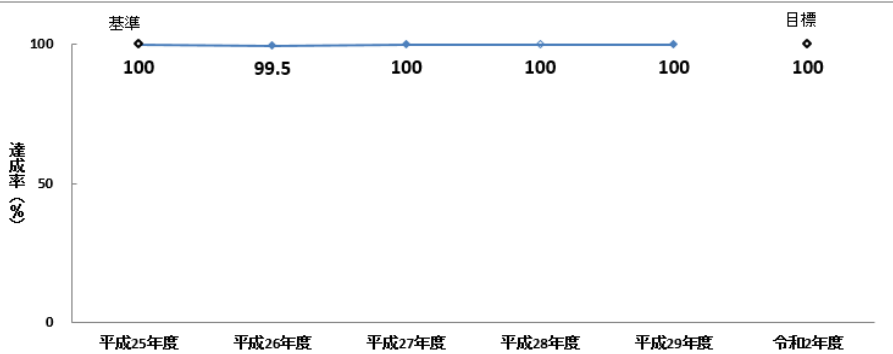
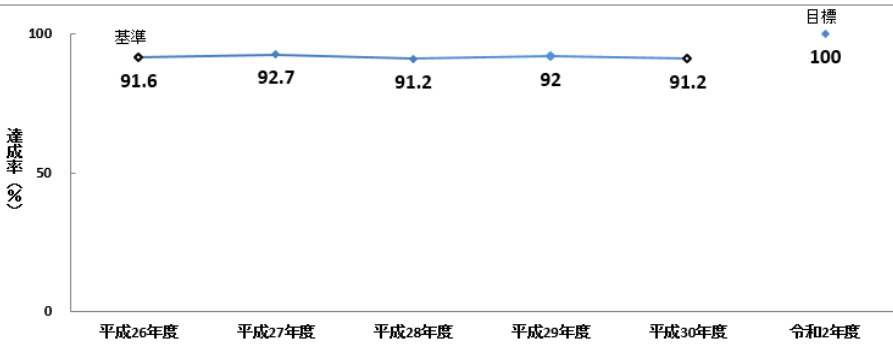
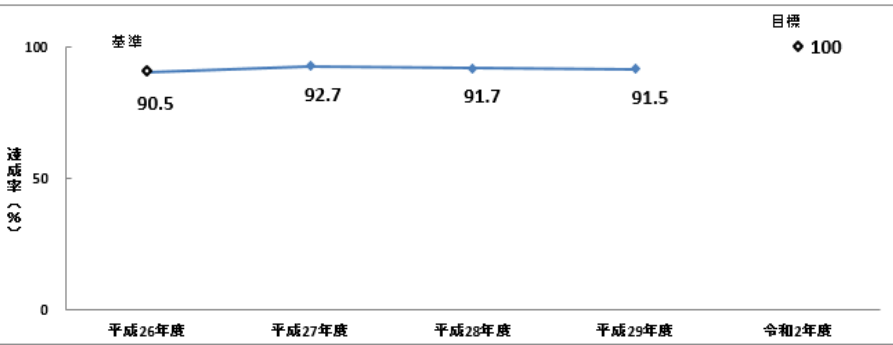
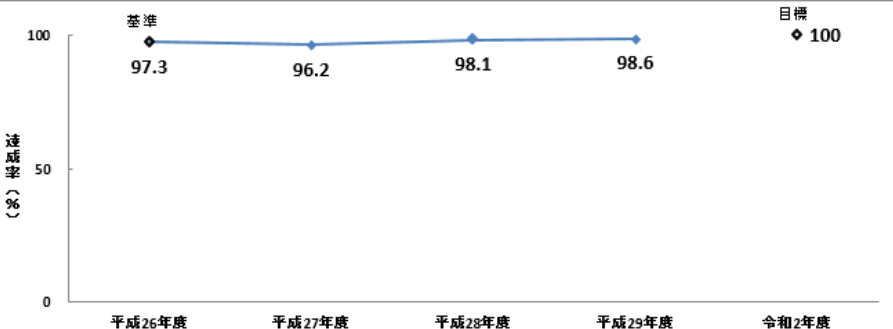
関連指標	内 容																										
<p>補足データ</p> <p>エゾシカ推定生息数</p> <p>関連目標⑧</p>	<p>全道におけるエゾシカの推定生息数は平成 23 年度から減少に転じ、平成 30 年度はピーク時より 11 万頭少ない約 66 万頭と推定。</p>  <table border="1" data-bbox="486 280 1412 616"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>推定生息数 (万頭)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成22年度</td><td>76</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>77</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>73</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>70</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>68</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>67</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>67</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>66</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>66</td></tr> </tbody> </table>	年度	推定生息数 (万頭)	平成22年度	76	平成23年度	77	平成24年度	73	平成25年度	70	平成26年度	68	平成27年度	67	平成28年度	67	平成29年度	66	平成30年度	66						
年度	推定生息数 (万頭)																										
平成22年度	76																										
平成23年度	77																										
平成24年度	73																										
平成25年度	70																										
平成26年度	68																										
平成27年度	67																										
平成28年度	67																										
平成29年度	66																										
平成30年度	66																										
<p>補足データ</p> <p>狩猟免許所持者数</p> <p>関連目標⑧</p>	<p>全道における平成 29 年度の狩猟免許所持者数は 11,811 人であり、微増傾向。</p>  <table border="1" data-bbox="486 705 1412 1041"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>狩猟免許所持者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>8,535</td></tr> <tr><td>H19</td><td>9,471</td></tr> <tr><td>H20</td><td>9,471</td></tr> <tr><td>H21</td><td>8,718</td></tr> <tr><td>H22</td><td>9,637</td></tr> <tr><td>H23</td><td>10,524</td></tr> <tr><td>H24</td><td>10,215</td></tr> <tr><td>H25</td><td>10,689</td></tr> <tr><td>H26</td><td>10,968</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11,001</td></tr> <tr><td>H28</td><td>11,397</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11,811</td></tr> </tbody> </table>	年度	狩猟免許所持者数 (人)	H18	8,535	H19	9,471	H20	9,471	H21	8,718	H22	9,637	H23	10,524	H24	10,215	H25	10,689	H26	10,968	H27	11,001	H28	11,397	H29	11,811
年度	狩猟免許所持者数 (人)																										
H18	8,535																										
H19	9,471																										
H20	9,471																										
H21	8,718																										
H22	9,637																										
H23	10,524																										
H24	10,215																										
H25	10,689																										
H26	10,968																										
H27	11,001																										
H28	11,397																										
H29	11,811																										
<p>補足データ</p> <p>エゾシカ個体数指数 (南部地域)</p> <p>関連目標⑧</p>	<p>北海道南部地域におけるエゾシカの生息状況は、増加が継続。 ※ 平成 29 年 3 月に「北海道エゾシカ管理計画 (第 5 期)」を策定し、補足データとして追加。</p>  <table border="1" data-bbox="486 1176 1412 1512"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数推定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>117</td></tr> <tr><td>H25</td><td>138</td></tr> <tr><td>H26</td><td>162</td></tr> <tr><td>H27</td><td>188</td></tr> <tr><td>H28</td><td>214</td></tr> <tr><td>H29</td><td>248</td></tr> <tr><td>H30</td><td>279</td></tr> </tbody> </table>	年度	指数推定値	H23	100	H24	117	H25	138	H26	162	H27	188	H28	214	H29	248	H30	279								
年度	指数推定値																										
H23	100																										
H24	117																										
H25	138																										
H26	162																										
H27	188																										
H28	214																										
H29	248																										
H30	279																										

4 安全・安心な地域環境の確保

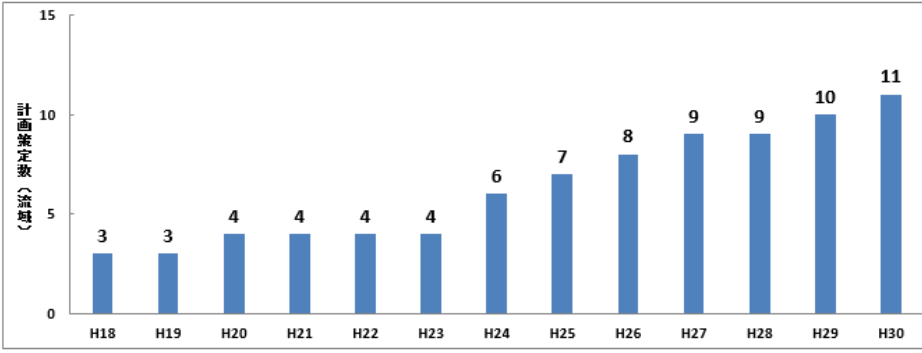
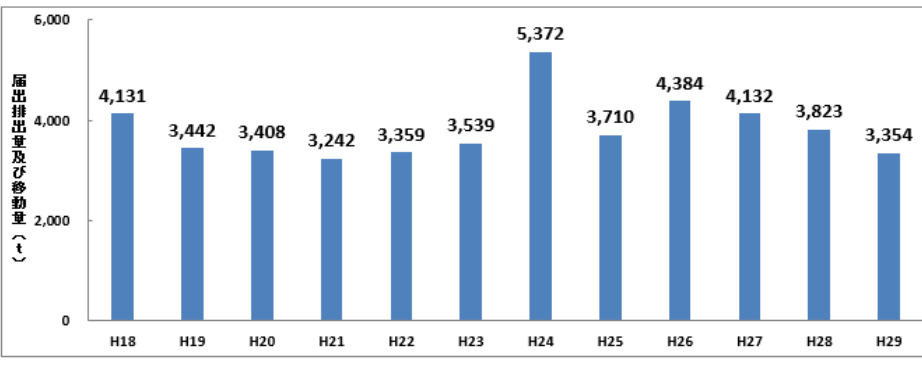
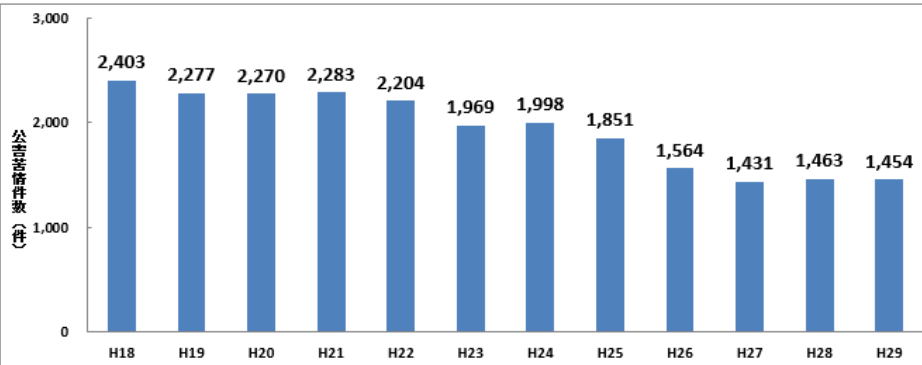
■施策分野の目標とその達成状況

目標①	きれいな空気や水を守る
達成状況	<p>大気環境基準達成率は100%で目標を達成しており、良好な大気環境が保たれている。</p> <p>また、公共用水域（河川、湖沼、海域）における水質環境基準の達成率は91.2%であり、一部の湖沼など閉鎖性水域は依然として低い状況にあることから、事業場等への立入検査による監視・指導、関係機関と連携した生活排水処理施設の整備など汚濁発生源対策に取り組むことが重要。</p> <p>また、地下水については、農地への過剰な施肥、家畜ふん尿の不適正な処理や生活排水などが要因とされる硝酸性窒素等による汚染が一部の地域において顕在化。 汚水処理人口普及率は95.4%となっており、着実に普及率が向上。</p>
目標②	健全な水循環を確保する
達成状況	<p>健全な水循環を確保するため、道内各地域において水環境保全のための協議会等が設置され、取組が進められており、流域環境保全計画策定数は11流域で、着実に流域の関係者が連携・協力する流域ネットワークの形成が進んでいる。</p>
目標③	静穏な生活環境を確保する
達成状況	<p>騒音に関する環境基準達成率は、一般地域は91.5%、自動車騒音は98.6%となっており、目標の達成に向け一般地域は遅れが見られるが、自動車騒音は概ね順調に推移。</p> <p>航空機騒音は、測定を行った4カ所のうち、函館空港及び旭川空港周辺の測定点では環境基準を達成したが、新千歳空港周辺及び千歳飛行場の測定点では環境基準未達成の地点があったため、環境基準達成率は50%となり、目標の達成に向けて遅れ。</p>
目 標	化学物質等による環境リスクの低減を図る
達成状況	<p>ダイオキシン類の大気、水質、土壌の環境基準達成率は100%となっており、調査開始以降19年連続で環境基準を達成。</p>

■ 関連指標群の状況

関連指標群	内 容														
<p>指標</p> <p>大気環境基準達成率</p> <p>関連目標①</p>	<p>平成 29 年度の本道の大気環境基準達成率は 100%。</p>  <table border="1"> <caption>大気環境基準達成率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成25年度	100	平成26年度	99.5	平成27年度	100	平成28年度	100	平成29年度	100	令和2年度	100
年度	達成率 (%)														
平成25年度	100														
平成26年度	99.5														
平成27年度	100														
平成28年度	100														
平成29年度	100														
令和2年度	100														
<p>指標</p> <p>水質環境基準達成率</p> <p>関連目標①②</p>	<p>平成 30 年度の本道の水質環境基準達成率は 91.2%となっており、基準年（平成 26 年度）に比べ 0.4 ポイント減少しており、目標の達成に向けては遅れ。</p>  <table border="1"> <caption>水質環境基準達成率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>91.6</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>92.7</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成26年度	91.6	平成27年度	92.7	平成28年度	91.2	平成29年度	92	平成30年度	91.2	令和2年度	100
年度	達成率 (%)														
平成26年度	91.6														
平成27年度	92.7														
平成28年度	91.2														
平成29年度	92														
平成30年度	91.2														
令和2年度	100														
<p>指標</p> <p>騒音に関する環境基準達成率（一般地域）</p> <p>関連目標③</p>	<p>平成 29 年度の本道の騒音に関する環境基準達成率（一般地域）は、91.5%となっており、目標の達成に向けては遅れ。</p>  <table border="1"> <caption>騒音に関する環境基準達成率（一般地域）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>90.5</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>92.7</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>91.5</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成26年度	90.5	平成27年度	92.7	平成28年度	91.7	平成29年度	91.5	令和2年度	100		
年度	達成率 (%)														
平成26年度	90.5														
平成27年度	92.7														
平成28年度	91.7														
平成29年度	91.5														
令和2年度	100														
<p>指標</p> <p>騒音に関する環境基準達成率（自動車）</p> <p>関連目標③</p>	<p>平成 29 年度の本道の騒音に関する環境基準達成率（自動車）は、98.6%となっており、目標の達成に向けては概ね順調に推移。</p>  <table border="1"> <caption>騒音に関する環境基準達成率（自動車）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>97.3</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>98.6</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成26年度	97.3	平成27年度	96.2	平成28年度	98.1	平成29年度	98.6	令和2年度	100		
年度	達成率 (%)														
平成26年度	97.3														
平成27年度	96.2														
平成28年度	98.1														
平成29年度	98.6														
令和2年度	100														

関連指標群	内 容																																
<p style="text-align: center;">指標</p> <p style="text-align: center;">騒音に関する 環境基準達成率 (航空機)</p> <p style="text-align: center;">関連指標③</p>	<p>平成 30 年度の本道の騒音に関する環境基準達成率（航空機）は、測定を行った4カ所の空港・飛行場のうち、函館空港及び旭川空港周辺の測定点では環境基準を達成したが、新千歳空港周辺及び千歳飛行場の測定点では環境基準未達成の地点があったため50%となり、目標の達成に向けて遅れ。</p> <table border="1"> <caption>騒音に関する環境基準達成率（航空機）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>目標 100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成26年度	50.0	平成27年度	50.0	平成28年度	50.0	平成29年度	50.0	平成30年度	50.0	令和2年度	目標 100																		
年度	達成率 (%)																																
平成26年度	50.0																																
平成27年度	50.0																																
平成28年度	50.0																																
平成29年度	50.0																																
平成30年度	50.0																																
令和2年度	目標 100																																
<p style="text-align: center;">関連指標</p> <p style="text-align: center;">化学物質 (ダイオキシン類) 環境基準達成率</p> <p style="text-align: center;">関連目標④</p>	<p>平成 30 年度の本道のダイオキシン類の環境基準達成率は、100%となっており、調査開始以降 19 年連続で環境基準を達成。</p> <table border="1"> <caption>化学物質（ダイオキシン類）環境基準達成率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>目標 100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成26年度	100	平成27年度	100	平成28年度	100	平成29年度	100	平成30年度	100	令和2年度	目標 100																		
年度	達成率 (%)																																
平成26年度	100																																
平成27年度	100																																
平成28年度	100																																
平成29年度	100																																
平成30年度	100																																
令和2年度	目標 100																																
<p style="text-align: center;">補足データ</p> <p style="text-align: center;">地下水環境基準の 達成状況</p> <p style="text-align: center;">関連目標①②</p>	<p>平成 30 年度の本道の地下水環境基準の達成率は 65.4%となっており、近年、達成状況は上昇傾向。</p> <table border="1"> <caption>地下水環境基準の達成状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>58.5</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>62.8</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>61.7</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>61.5</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>59.4</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>60.4</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>64.0</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>65.4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	平成22年度	58.5	平成23年度	62.8	平成24年度	61.7	平成25年度	61.5	平成26年度	59.4	平成27年度	60.4	平成28年度	63.4	平成29年度	64.0	平成30年度	65.4												
年度	達成率 (%)																																
平成22年度	58.5																																
平成23年度	62.8																																
平成24年度	61.7																																
平成25年度	61.5																																
平成26年度	59.4																																
平成27年度	60.4																																
平成28年度	63.4																																
平成29年度	64.0																																
平成30年度	65.4																																
<p style="text-align: center;">補足データ</p> <p style="text-align: center;">汚水処理人口普及率</p> <p style="text-align: center;">関連目標①②</p>	<p>平成 30 年度の本道の汚水処理人口普及率は 95.5%となっており、毎年ポイントは上昇し、着実に普及率が向上。</p> <table border="1"> <caption>汚水処理人口普及率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>普及率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>90.7</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>91.4</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>93.1</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>93.7</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>93.9</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>94.2</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>94.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>95.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>95.4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	普及率 (%)	H16	90.7	H17	91.4	H18	92.0	H19	92.6	H20	93.1	H21	93.4	H22	93.7	H23	93.9	H24	94.2	H25	94.4	H26	94.7	H27	95.0	H28	95.2	H29	95.4	H30	95.5
年度	普及率 (%)																																
H16	90.7																																
H17	91.4																																
H18	92.0																																
H19	92.6																																
H20	93.1																																
H21	93.4																																
H22	93.7																																
H23	93.9																																
H24	94.2																																
H25	94.4																																
H26	94.7																																
H27	95.0																																
H28	95.2																																
H29	95.4																																
H30	95.5																																

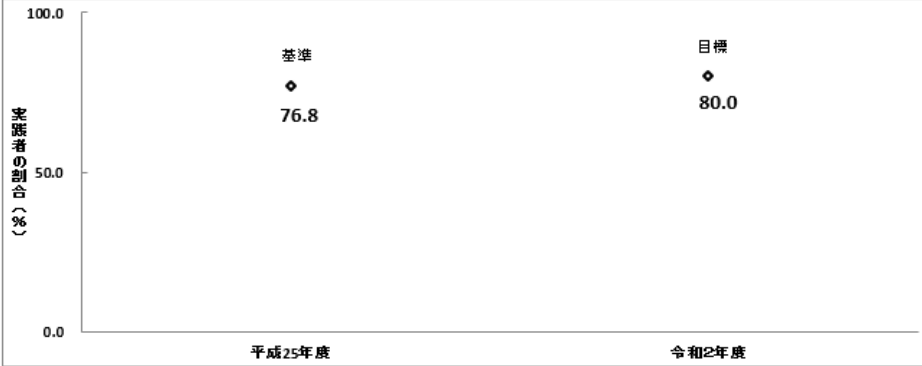
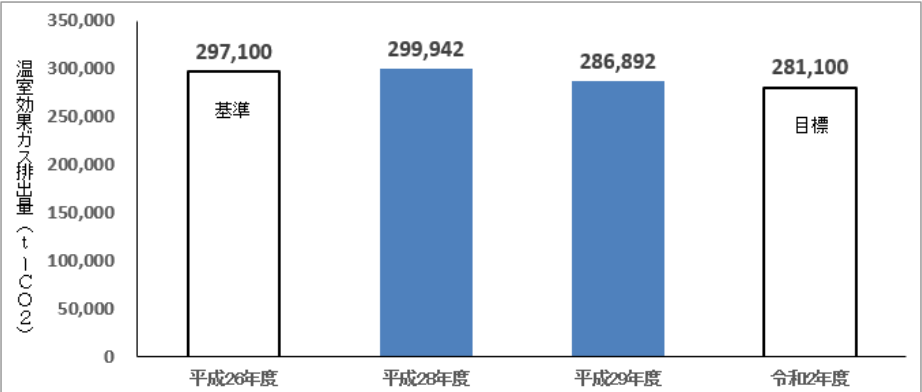
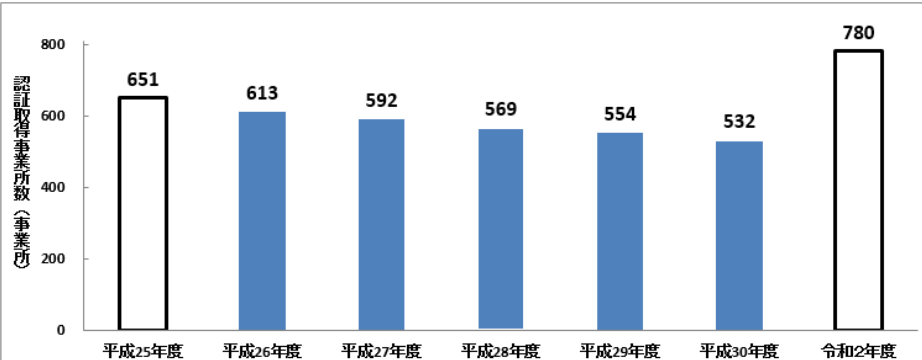
関連指標群	内 容																												
<p data-bbox="247 219 391 257">補足データ</p> <p data-bbox="199 264 438 369">健全な水循環確保のための流域環境保全計画策定数</p> <p data-bbox="231 407 406 443">関連目標①②</p>	<p data-bbox="486 219 1412 280">平成 30 年度の健全な水循環確保のための流域環境保全計画策定数は、全道で 11 流域となり、着実に策定数が増加。</p>  <table border="1" data-bbox="486 309 1412 660"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画策定数(流域)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>3</td></tr> <tr><td>H19</td><td>3</td></tr> <tr><td>H20</td><td>4</td></tr> <tr><td>H21</td><td>4</td></tr> <tr><td>H22</td><td>4</td></tr> <tr><td>H23</td><td>4</td></tr> <tr><td>H24</td><td>6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10</td></tr> <tr><td>H30</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	年度	計画策定数(流域)	H18	3	H19	3	H20	4	H21	4	H22	4	H23	4	H24	6	H25	7	H26	8	H27	9	H28	9	H29	10	H30	11
年度	計画策定数(流域)																												
H18	3																												
H19	3																												
H20	4																												
H21	4																												
H22	4																												
H23	4																												
H24	6																												
H25	7																												
H26	8																												
H27	9																												
H28	9																												
H29	10																												
H30	11																												
<p data-bbox="247 689 391 728">補足データ</p> <p data-bbox="191 734 446 840">PRTR法に基づく届出排出量及び移動量</p> <p data-bbox="247 878 391 913">関連指標④</p>	<p data-bbox="486 689 1412 750">平成 29 年度の PRTR 法に基づく届出排出量及び移動量の合計は 3,354 t であり、ぶれはあるものの概ね横ばいで推移。</p>  <table border="1" data-bbox="486 779 1412 1142"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>届出排出量及び移動量(t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>4,131</td></tr> <tr><td>H19</td><td>3,442</td></tr> <tr><td>H20</td><td>3,408</td></tr> <tr><td>H21</td><td>3,242</td></tr> <tr><td>H22</td><td>3,359</td></tr> <tr><td>H23</td><td>3,539</td></tr> <tr><td>H24</td><td>5,372</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,710</td></tr> <tr><td>H26</td><td>4,384</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,132</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,823</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,354</td></tr> </tbody> </table>	年度	届出排出量及び移動量(t)	H18	4,131	H19	3,442	H20	3,408	H21	3,242	H22	3,359	H23	3,539	H24	5,372	H25	3,710	H26	4,384	H27	4,132	H28	3,823	H29	3,354		
年度	届出排出量及び移動量(t)																												
H18	4,131																												
H19	3,442																												
H20	3,408																												
H21	3,242																												
H22	3,359																												
H23	3,539																												
H24	5,372																												
H25	3,710																												
H26	4,384																												
H27	4,132																												
H28	3,823																												
H29	3,354																												
<p data-bbox="247 1171 391 1209">補足データ</p> <p data-bbox="231 1216 406 1254">公害苦情件数</p> <p data-bbox="215 1292 422 1328">関連目標①②③</p>	<p data-bbox="486 1171 1412 1232">平成 29 年度の本道の公害苦情件数は、1,454 件となっており、近年、おおむね減少傾向。</p>  <table border="1" data-bbox="486 1261 1412 1624"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>公害苦情件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>2,403</td></tr> <tr><td>H19</td><td>2,277</td></tr> <tr><td>H20</td><td>2,270</td></tr> <tr><td>H21</td><td>2,283</td></tr> <tr><td>H22</td><td>2,204</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,969</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,998</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,851</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,564</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,431</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,463</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,454</td></tr> </tbody> </table>	年度	公害苦情件数(件)	H18	2,403	H19	2,277	H20	2,270	H21	2,283	H22	2,204	H23	1,969	H24	1,998	H25	1,851	H26	1,564	H27	1,431	H28	1,463	H29	1,454		
年度	公害苦情件数(件)																												
H18	2,403																												
H19	2,277																												
H20	2,270																												
H21	2,283																												
H22	2,204																												
H23	1,969																												
H24	1,998																												
H25	1,851																												
H26	1,564																												
H27	1,431																												
H28	1,463																												
H29	1,454																												

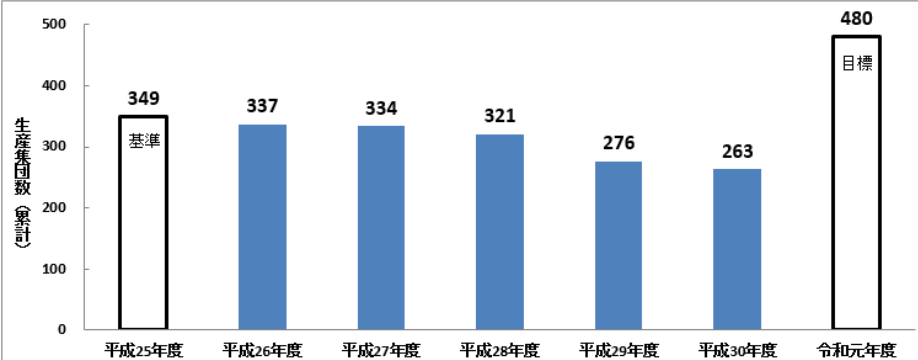
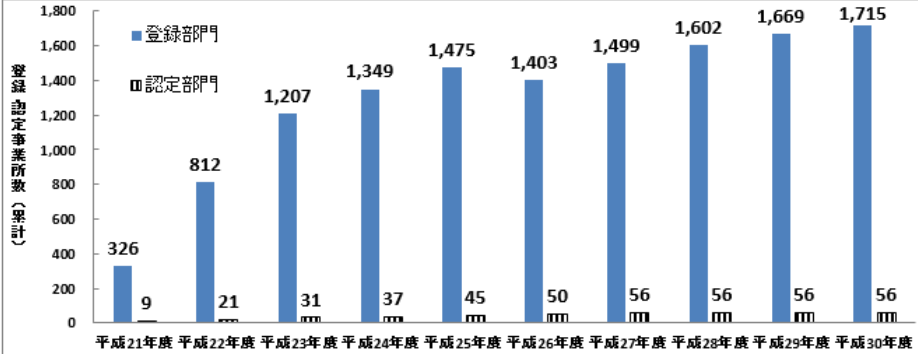
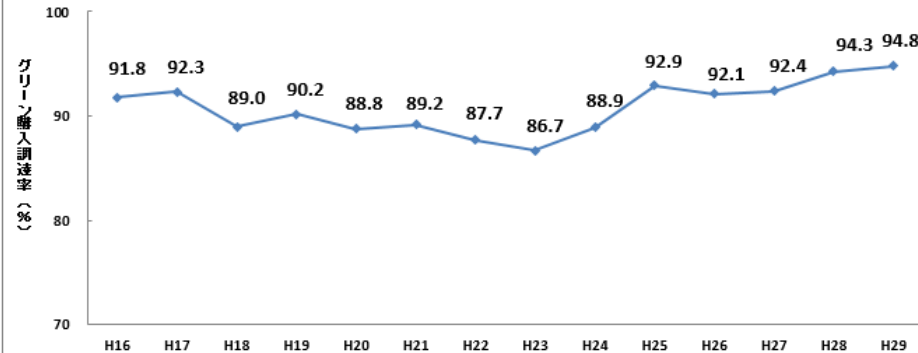
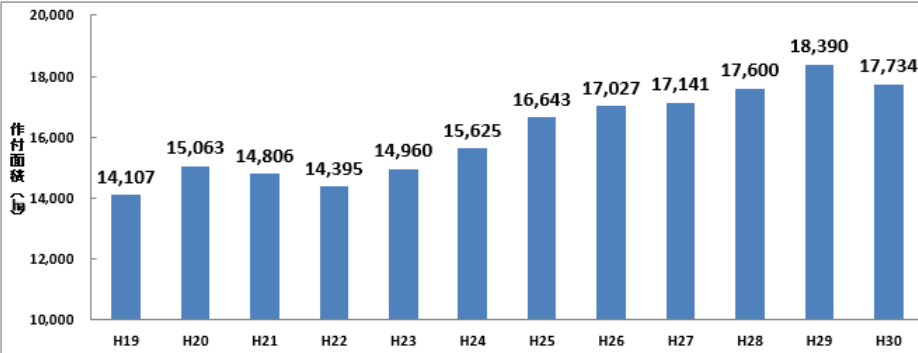
5 各分野に共通する施策の展開

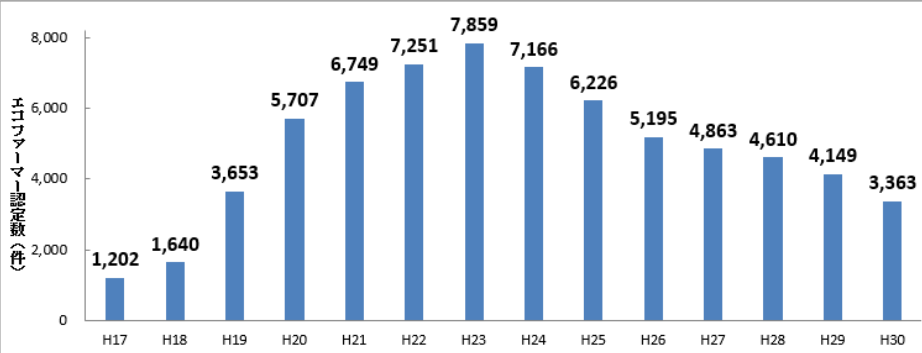
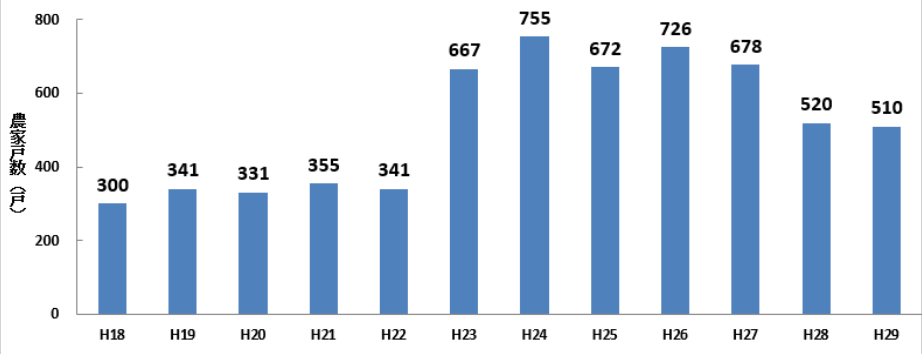
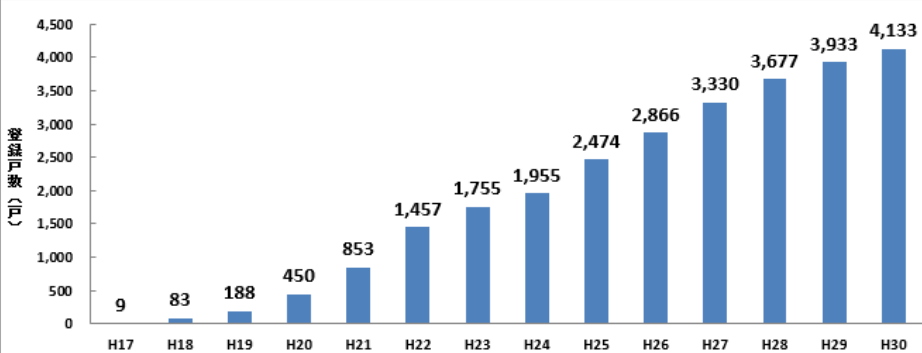
■施策分野の目標とその達成状況

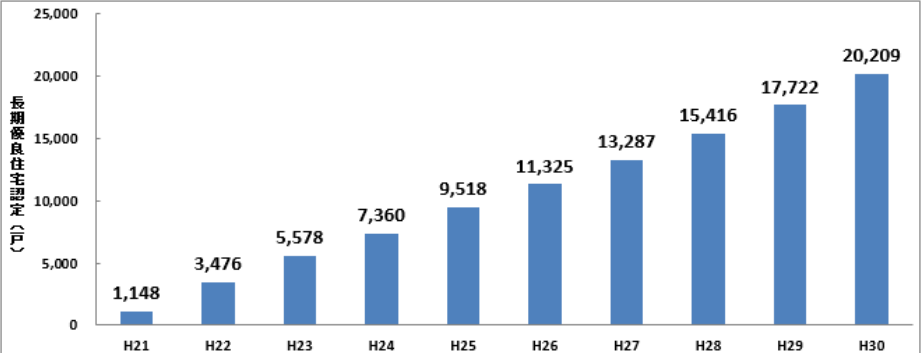
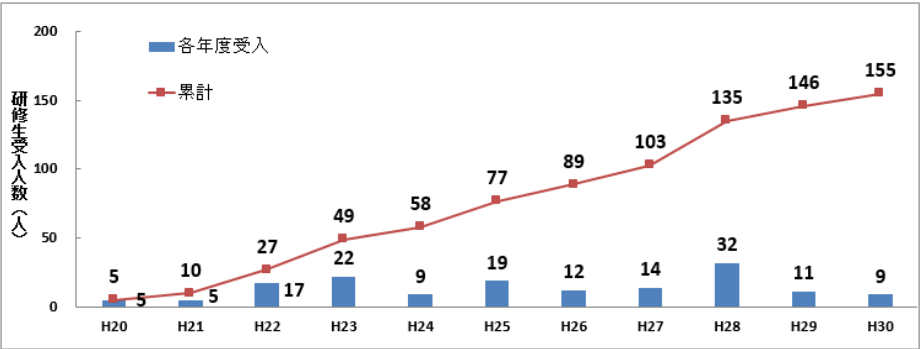
目標①	環境保全意識を持ち主体的に行動できる人づくりを推進する
達成状況	積極的に環境問題に取り組む人づくりを推進するため、家庭、学校、NPO、事業者等における環境教育を推進しており、日常生活において環境に配慮した行動を行う人（＝「 環境配慮活動実践者 」）の割合は、平成25年度調査で 76.8% 。
目標②	環境に配慮したライフスタイルの定着を図る
達成状況	北海道クールアース・デイ（7月7日）を中心に照明設備を消灯しローソクの灯りの中で身の回りの環境のことを考える「ガイアナイトイベント」や、自動車からの温室効果ガス削減を目指す「エコアンドセーフティドライブ」事業の実施などにより、地球温暖化防止に関する普及啓発や、道民一人ひとりが環境への負荷の少ない生活を心がけるよう「北海道環境宣言」に基づく普及啓発などの取組を進めている。
目標③	事業者の環境に配慮した行動を促進する
達成状況	環境管理システム（ISO14001など）の認証を取得している事業所数は532事業所と近年減少傾向にあり、目標の達成に向けて遅れが見られ、また、クリーン農業に取り組むYES!clean表示制度については、作付面積は増加傾向であるが、登録は263生産集団と近年減少傾向にあり、目標の達成に向けては遅れ。 なお、環境に配慮した取組を自主的に行う事業所等を認定・登録する「 北海道グリーン・ビズ 」事業所は 微増傾向 。
目標④	道が行う事務・事業における環境配慮を徹底する
達成状況	環境への負荷が出来るだけ少ない物品やサービスを優先して選択する「 グリーン購入 」について、平成29年度は、物品及び役務205品目、公共工事69品目、北海道認定リサイクル製品162品目を特定調達品目として定め、 道のグリーン購入調達率は94.8% となっており、環境物品のより一層の調達率の向上に取り組む。
目標⑤	環境影響評価の適切な運用を通じて、開発事業における環境配慮を推進する
達成状況	事業計画段階から環境配慮を検討する手続（事前相談10件）やインターネットにより公表する制度などを通じて、早期の事業計画段階からの環境配慮を求めるなど、環境影響評価制度の適切な運用を図っている。
目標⑥	環境への配慮を織り込んだまちづくりや地域づくりを推進する
達成状況	高断熱・高気密・高耐久など一定の基準を満たした住宅である 北方型住宅の登録・保管戸数は4,133戸となり、着実に増加。 また、長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅である 長期優良住宅として認定された戸数についても20,209戸と着実に増加。
目標⑦	地域特性等を踏まえた環境関連ビジネスの振興を図る
達成状況	本道の豊かな自然エネルギー資源を活かした先進的な技術を用いた事業や製品開発に対する補助や、道内企業が持つ積雪寒冷地特有の製品や技術を活用した新たな商品を開発するプロジェクトの支援などにより、環境関連ビジネスの振興を促進。
目標⑧	関係機関等と連携した調査研究・環境保全技術開発を推進する
達成状況	国や北海道立総合研究機構、道内外の大学、民間企業などが連携して環境保全に係る調査研究や技術開発を促進。
目標⑨	地球環境保全に資する国際的な取組を推進する
達成状況	独立行政法人国際協力機構（JICA）と協力し、環境分野における海外からの研修員に対し、毎年研修を行っており、 平成20年度からの累計人数は155人。

■ 関連指標群の状況

関連指標群	内 容																
<p>指標</p> <p>「環境配慮活動実践者」の割合</p> <p>関連目標①②</p>	<p>平成 25 年度に実施した「道民意識調査」において、日常生活において環境に配慮した行動をしている（「やや行動している」を含む）と回答した人の割合は 76.8%となっているが、以降、道民意識調査での把握が実施できていないため、近年の状況は把握できていない。</p>  <table border="1"> <caption>環境配慮活動実践者の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>76.8</td> <td>基準</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>80.0</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	種類	平成25年度	76.8	基準	令和2年度	80.0	目標							
年度	割合 (%)	種類															
平成25年度	76.8	基準															
令和2年度	80.0	目標															
<p>指標</p> <p>道の事務・事業における温室効果ガスの排出量</p> <p>関連目標④</p>	<p>基準年度に比べて、10,186t-CO₂（3.4%）減少。 「第4期道の事務・事業に関する実行計画」に基づき、引き続き温室効果ガスの排出削減に向け取組が必要。</p>  <table border="1"> <caption>道の事務・事業における温室効果ガスの排出量</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量 (t-CO₂)</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>297,100</td> <td>基準</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>299,942</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>286,892</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>281,100</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>	年度	排出量 (t-CO ₂)	種類	平成26年度	297,100	基準	平成28年度	299,942	実績	平成29年度	286,892	実績	令和2年度	281,100	目標	
年度	排出量 (t-CO ₂)	種類															
平成26年度	297,100	基準															
平成28年度	299,942	実績															
平成29年度	286,892	実績															
令和2年度	281,100	目標															
<p>個別指標</p> <p>環境管理システムの認証取得事業所数</p> <p>関連目標③</p>	<p>平成 30 年度までに環境管理システムの認証を取得した事業所数は 532 事業所と近年減少傾向にあり、目標の達成に向け更なる取組が必要。</p>  <table border="1"> <caption>環境管理システムの認証取得事業所数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>651</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>613</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>569</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>554</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>532</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>780</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業所数	平成25年度	651	平成26年度	613	平成27年度	592	平成28年度	569	平成29年度	554	平成30年度	532	令和2年度	780
年度	事業所数																
平成25年度	651																
平成26年度	613																
平成27年度	592																
平成28年度	569																
平成29年度	554																
平成30年度	532																
令和2年度	780																

関連指標群	内 容																																												
<p>個別指標</p> <p>YES!clean 表示制度 登録生産集団数</p> <p>関連目標③</p>	<p>平成 30 年度の本道のクリーン農業に取り組む生産集団は、263 生産集団となっており、販売農家戸数が減少傾向にある中、実集団数が伸び悩んでおり、目標の達成に向け更なる取組が必要。</p>  <table border="1"> <caption>登録生産集団数 (単位: 集団)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録生産集団数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>480 (目標)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録生産集団数	平成25年度	349	平成26年度	337	平成27年度	334	平成28年度	321	平成29年度	276	平成30年度	263	令和元年度	480 (目標)																												
年度	登録生産集団数																																												
平成25年度	349																																												
平成26年度	337																																												
平成27年度	334																																												
平成28年度	321																																												
平成29年度	276																																												
平成30年度	263																																												
令和元年度	480 (目標)																																												
<p>補足データ</p> <p>グリーン・Biz認定制度による登録・認定事業所数</p> <p>関連目標③</p>	<p>平成 30 年度の北海道グリーン・Biz登録・認定事業者は、1,771 事業所（登録部門 1,715 事業所、認定部門 56 事業所）となり、近年は増加傾向。</p>  <table border="1"> <caption>登録・認定事業所数 (単位: 事業所)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録部門</th> <th>認定部門</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年度</td> <td>326</td> <td>9</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>812</td> <td>21</td> <td>812</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,207</td> <td>31</td> <td>1,207</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>1,349</td> <td>37</td> <td>1,349</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1,475</td> <td>45</td> <td>1,475</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1,403</td> <td>50</td> <td>1,403</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,499</td> <td>56</td> <td>1,499</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,602</td> <td>56</td> <td>1,602</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,669</td> <td>56</td> <td>1,669</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,715</td> <td>56</td> <td>1,715</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録部門	認定部門	合計	平成21年度	326	9	326	平成22年度	812	21	812	平成23年度	1,207	31	1,207	平成24年度	1,349	37	1,349	平成25年度	1,475	45	1,475	平成26年度	1,403	50	1,403	平成27年度	1,499	56	1,499	平成28年度	1,602	56	1,602	平成29年度	1,669	56	1,669	平成30年度	1,715	56	1,715
年度	登録部門	認定部門	合計																																										
平成21年度	326	9	326																																										
平成22年度	812	21	812																																										
平成23年度	1,207	31	1,207																																										
平成24年度	1,349	37	1,349																																										
平成25年度	1,475	45	1,475																																										
平成26年度	1,403	50	1,403																																										
平成27年度	1,499	56	1,499																																										
平成28年度	1,602	56	1,602																																										
平成29年度	1,669	56	1,669																																										
平成30年度	1,715	56	1,715																																										
<p>補足データ</p> <p>道におけるグリーン購入調達率</p> <p>関連目標④</p>	<p>平成 29 年度の道におけるグリーン購入調達率は、94.8%となっており、近年は増加傾向。</p>  <table border="1"> <caption>グリーン購入調達率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>グリーン購入調達率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>91.8</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>92.3</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>90.2</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>88.8</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>89.2</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>87.7</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>86.7</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>92.9</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>92.1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>94.8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	グリーン購入調達率 (%)	H16	91.8	H17	92.3	H18	89.0	H19	90.2	H20	88.8	H21	89.2	H22	87.7	H23	86.7	H24	88.9	H25	92.9	H26	92.1	H27	92.4	H28	94.3	H29	94.8														
年度	グリーン購入調達率 (%)																																												
H16	91.8																																												
H17	92.3																																												
H18	89.0																																												
H19	90.2																																												
H20	88.8																																												
H21	89.2																																												
H22	87.7																																												
H23	86.7																																												
H24	88.9																																												
H25	92.9																																												
H26	92.1																																												
H27	92.4																																												
H28	94.3																																												
H29	94.8																																												
<p>補足データ</p> <p>北のクリーン農産物 (YES!clean) の作付面積</p> <p>関連目標③</p>	<p>クリーン農業技術の導入など一定の基準を満たした農産物にマークを表示し、詳しい栽培情報を提供する、北のクリーン農産物 (YES!clean) 表示制度に係る平成 30 年度の作付面積は 17,734ha となっており、前年度より減少したものの、近年は増加傾向。</p>  <table border="1"> <caption>北のクリーン農産物の作付面積 (単位: ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>作付面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>14,107</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>15,063</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>14,806</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>14,395</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>14,960</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>15,625</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>16,643</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>17,027</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>17,141</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17,600</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>18,390</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17,734</td> </tr> </tbody> </table>	年度	作付面積 (ha)	H19	14,107	H20	15,063	H21	14,806	H22	14,395	H23	14,960	H24	15,625	H25	16,643	H26	17,027	H27	17,141	H28	17,600	H29	18,390	H30	17,734																		
年度	作付面積 (ha)																																												
H19	14,107																																												
H20	15,063																																												
H21	14,806																																												
H22	14,395																																												
H23	14,960																																												
H24	15,625																																												
H25	16,643																																												
H26	17,027																																												
H27	17,141																																												
H28	17,600																																												
H29	18,390																																												
H30	17,734																																												

関連指標群	内 容																														
<p>補足データ</p> <p>道内のエコファーマー認定数</p> <p>関連目標③</p>	<p>土づくりや減化学肥料などの環境にやさしい農業に取り組む農業者として認定された農業者である、道内のエコファーマーは増加傾向にあったが、平成 23 年度をピークに近年は減少傾向。</p>  <table border="1" data-bbox="486 309 1412 660"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>エコファーマー認定数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H17</td><td>1,202</td></tr> <tr><td>H18</td><td>1,640</td></tr> <tr><td>H19</td><td>3,653</td></tr> <tr><td>H20</td><td>5,707</td></tr> <tr><td>H21</td><td>6,749</td></tr> <tr><td>H22</td><td>7,251</td></tr> <tr><td>H23</td><td>7,859</td></tr> <tr><td>H24</td><td>7,166</td></tr> <tr><td>H25</td><td>6,226</td></tr> <tr><td>H26</td><td>5,195</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,863</td></tr> <tr><td>H28</td><td>4,610</td></tr> <tr><td>H29</td><td>4,149</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,363</td></tr> </tbody> </table>	年度	エコファーマー認定数(件)	H17	1,202	H18	1,640	H19	3,653	H20	5,707	H21	6,749	H22	7,251	H23	7,859	H24	7,166	H25	6,226	H26	5,195	H27	4,863	H28	4,610	H29	4,149	H30	3,363
年度	エコファーマー認定数(件)																														
H17	1,202																														
H18	1,640																														
H19	3,653																														
H20	5,707																														
H21	6,749																														
H22	7,251																														
H23	7,859																														
H24	7,166																														
H25	6,226																														
H26	5,195																														
H27	4,863																														
H28	4,610																														
H29	4,149																														
H30	3,363																														
<p>補足データ</p> <p>有機農業に取り組む農家戸数</p> <p>関連目標③</p>	<p>平成 29 年度の有機農業に取り組む農家戸数は 510 戸となっており、昨年度から 10 戸減。</p> <p>なお、平成 23 年度及び平成 28 年度に調査方法を変更しているため、調査変更年度前後で大きな差がみられる。(平成 23 年度は非有機 JAS 認定農家を加えた有機農家全体の戸数へ変更、平成 28 年度は道独自調査から市町村等の協力に基づく国調査へ変更。)</p>  <table border="1" data-bbox="486 862 1412 1214"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農家戸数(戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>300</td></tr> <tr><td>H19</td><td>341</td></tr> <tr><td>H20</td><td>331</td></tr> <tr><td>H21</td><td>355</td></tr> <tr><td>H22</td><td>341</td></tr> <tr><td>H23</td><td>667</td></tr> <tr><td>H24</td><td>755</td></tr> <tr><td>H25</td><td>672</td></tr> <tr><td>H26</td><td>726</td></tr> <tr><td>H27</td><td>678</td></tr> <tr><td>H28</td><td>520</td></tr> <tr><td>H29</td><td>510</td></tr> </tbody> </table>	年度	農家戸数(戸)	H18	300	H19	341	H20	331	H21	355	H22	341	H23	667	H24	755	H25	672	H26	726	H27	678	H28	520	H29	510				
年度	農家戸数(戸)																														
H18	300																														
H19	341																														
H20	331																														
H21	355																														
H22	341																														
H23	667																														
H24	755																														
H25	672																														
H26	726																														
H27	678																														
H28	520																														
H29	510																														
<p>補足データ</p> <p>北方型住宅としてデータ登録された戸数</p> <p>関連目標⑥</p>	<p>道内で北方型住宅として登録された戸数は平成 30 年度末で累計 4,133 戸となっており、平成 17 年度から着実に増加。</p>  <table border="1" data-bbox="486 1288 1412 1639"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録戸数(戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H17</td><td>9</td></tr> <tr><td>H18</td><td>83</td></tr> <tr><td>H19</td><td>188</td></tr> <tr><td>H20</td><td>450</td></tr> <tr><td>H21</td><td>853</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,457</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,755</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,955</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,474</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,866</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,330</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,677</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,933</td></tr> <tr><td>H30</td><td>4,133</td></tr> </tbody> </table>	年度	登録戸数(戸)	H17	9	H18	83	H19	188	H20	450	H21	853	H22	1,457	H23	1,755	H24	1,955	H25	2,474	H26	2,866	H27	3,330	H28	3,677	H29	3,933	H30	4,133
年度	登録戸数(戸)																														
H17	9																														
H18	83																														
H19	188																														
H20	450																														
H21	853																														
H22	1,457																														
H23	1,755																														
H24	1,955																														
H25	2,474																														
H26	2,866																														
H27	3,330																														
H28	3,677																														
H29	3,933																														
H30	4,133																														

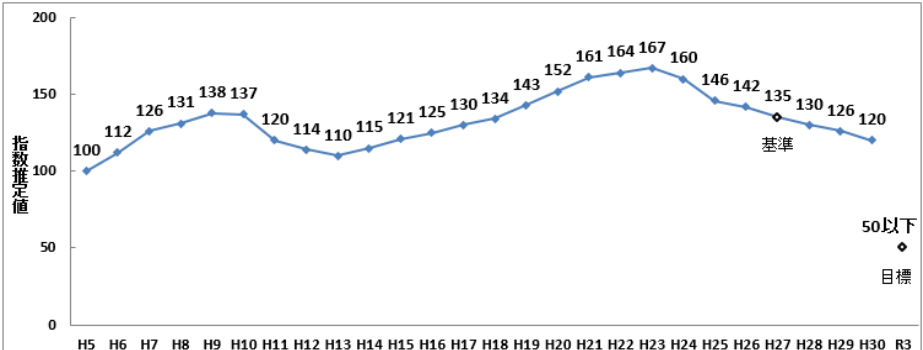
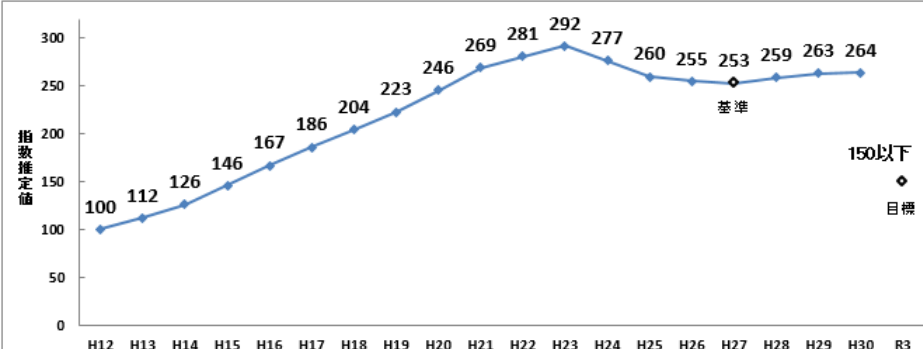
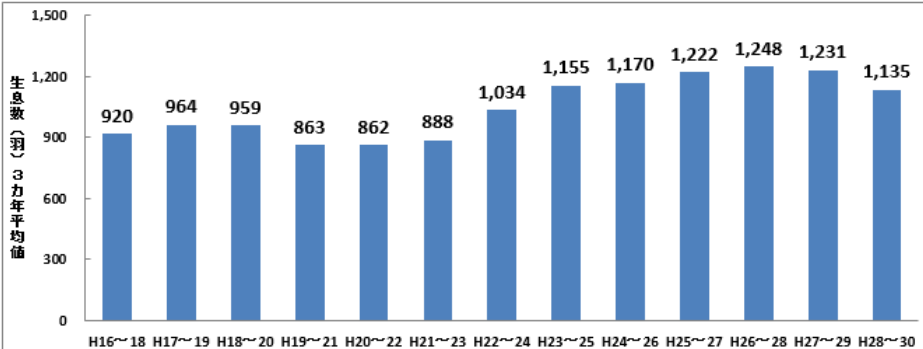
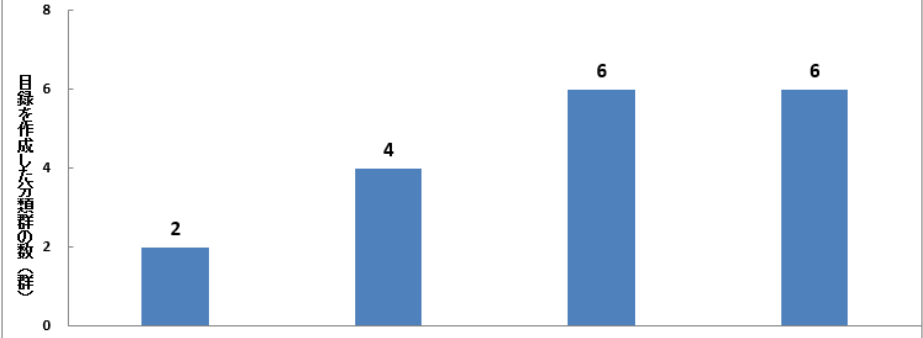
関連指標群	内 容																																				
<p>補足データ</p> <p>長期優良住宅の認定戸数</p> <p>関連目標⑥</p>	<p>道内で長期優良住宅として認定された戸数は平成 30 年度末で 20,209 戸となり、平成 21 年度から着実に増加。</p>  <table border="1"> <caption>長期優良住宅認定戸数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認定戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>1,148</td></tr> <tr><td>H22</td><td>3,476</td></tr> <tr><td>H23</td><td>5,578</td></tr> <tr><td>H24</td><td>7,360</td></tr> <tr><td>H25</td><td>9,518</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11,325</td></tr> <tr><td>H27</td><td>13,287</td></tr> <tr><td>H28</td><td>15,416</td></tr> <tr><td>H29</td><td>17,722</td></tr> <tr><td>H30</td><td>20,209</td></tr> </tbody> </table>	年度	認定戸数	H21	1,148	H22	3,476	H23	5,578	H24	7,360	H25	9,518	H26	11,325	H27	13,287	H28	15,416	H29	17,722	H30	20,209														
年度	認定戸数																																				
H21	1,148																																				
H22	3,476																																				
H23	5,578																																				
H24	7,360																																				
H25	9,518																																				
H26	11,325																																				
H27	13,287																																				
H28	15,416																																				
H29	17,722																																				
H30	20,209																																				
<p>補足データ</p> <p>環境分野における海外からの研修受入人数</p>	<p>平成 30 年度の環境分野における海外からの研修受入人数は 9 人、平成 20 年度からの累計人数は 155 人。</p>  <table border="1"> <caption>環境分野における海外からの研修受入人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>各年度受入</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>H21</td><td>5</td><td>10</td></tr> <tr><td>H22</td><td>17</td><td>27</td></tr> <tr><td>H23</td><td>22</td><td>49</td></tr> <tr><td>H24</td><td>9</td><td>58</td></tr> <tr><td>H25</td><td>19</td><td>77</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12</td><td>89</td></tr> <tr><td>H27</td><td>14</td><td>103</td></tr> <tr><td>H28</td><td>32</td><td>135</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11</td><td>146</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9</td><td>155</td></tr> </tbody> </table>	年度	各年度受入	累計	H20	5	5	H21	5	10	H22	17	27	H23	22	49	H24	9	58	H25	19	77	H26	12	89	H27	14	103	H28	32	135	H29	11	146	H30	9	155
年度	各年度受入	累計																																			
H20	5	5																																			
H21	5	10																																			
H22	17	27																																			
H23	22	49																																			
H24	9	58																																			
H25	19	77																																			
H26	12	89																																			
H27	14	103																																			
H28	32	135																																			
H29	11	146																																			
H30	9	155																																			

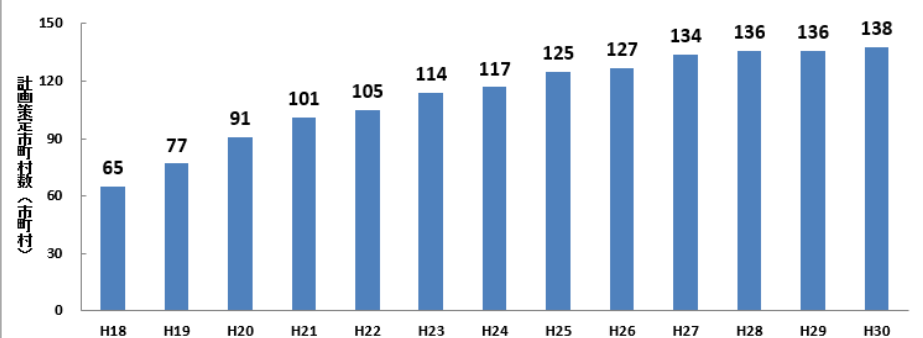
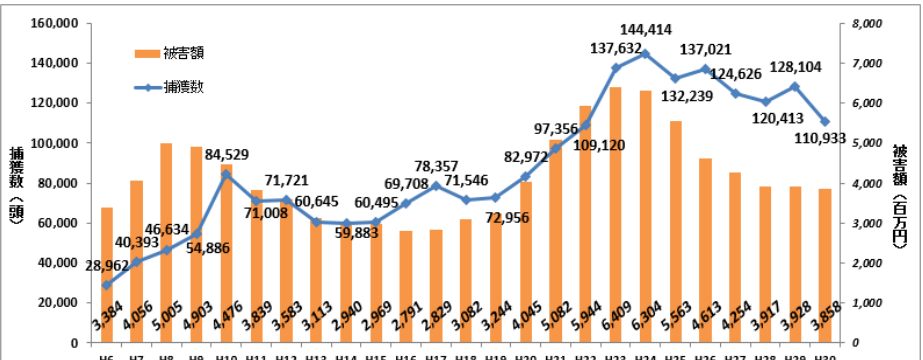
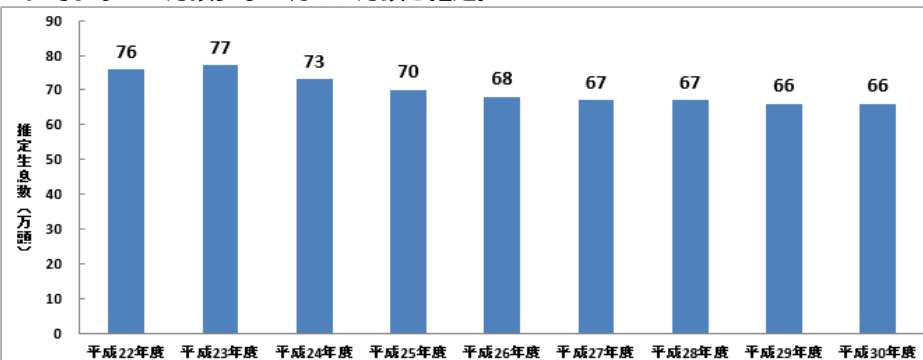
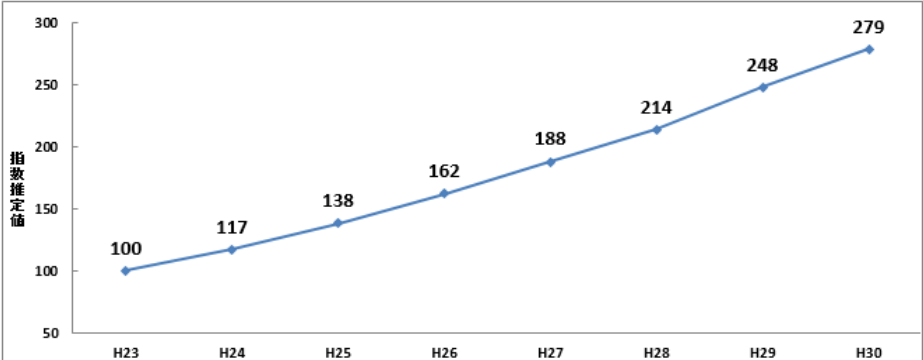
1 野生生物と共生する社会づくり

■目標とその達成状況

目 標	<p>科学的知見に基づいたモニタリングに基づき保護と管理のバランスを取り、捕獲個体の地域資源としての利活用も含めた総合的な対策に取り組むことにより、道民と野生生物が共存・共生できる社会の形成を目指します。</p>
達成状況	<p>多大な農林業被害等をもたらしているエゾシカについては、「北海道エゾシカ管理計画」に基づき、より効果的な捕獲と捕獲個体の有効活用をあわせて推進し、生息数の減少に必要な捕獲数を設定しながら適正な管理を行っている。エゾシカ個体数指数は、東部地域については着実に減少しているものの依然として高水準にあり、西部地域については、平成 24 年度以降は一旦減少傾向が見られたものの、平成 27 年度から再び増加に転じた可能性があるなど、目標の達成に向けて遅れが見られている。</p> <p>将来にわたって本道の生物多様性が損なわれることのないよう「第 12 次北海道鳥獣保護管理事業計画」に基づき、鳥獣保護管理事業の総合的・計画的な実施をより一層推進。</p> <p>また、人とヒグマのあつれき軽減とヒグマ地域個体群の存続を両立するため、「北海道ヒグマ管理計画」に基づき、ヒグマ保護管理研修会の開催やヒグマ個体群動態調査等の取組を進めているほか、依然として深刻なアザラシ類による漁業被害の軽減と人とアザラシ類との共存を目指し「北海道アザラシ管理計画」に基づき、北海道アザラシ管理検討会の開催等の取組を進めている。</p> <p>希少種においては、レッドリストの見直しを進めるとともに、ヒダカソウなどの指定希少野生動物種のモニタリングの実施や、タンチョウの保護増殖事業の一環として国と連携して越冬分布調査や越冬地分散の取組を実施するなど希少野生動物種の保護を総合的に進めている。</p> <p>外来種については、アライグマ等の生息域が拡大し、農業被害が発生しており、また、在来種への影響が懸念されている状況。このうち、アライグマの計画的で円滑な防除の実現に向けて、外来生物法に基づく防除実施計画の未策定市町村に対し策定を促した結果、平成 30 年度までに 138 市町村が計画を策定しているが、策定数は近年横ばいであり、更なる取組が必要。</p>

■ 関連指標群の状況 **【再掲】**

関連指標群	内 容																																																								
<p>個別指標</p> <p>エゾシカ個体数指数 (東部地域)</p>	<p>北海道東部地域におけるエゾシカの生息状況は依然として高水準にあるが、着実に減少。</p>  <table border="1"> <caption>エゾシカ個体数指数 (東部地域)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数推定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H5</td><td>100</td></tr> <tr><td>H6</td><td>112</td></tr> <tr><td>H7</td><td>126</td></tr> <tr><td>H8</td><td>131</td></tr> <tr><td>H9</td><td>138</td></tr> <tr><td>H10</td><td>137</td></tr> <tr><td>H11</td><td>120</td></tr> <tr><td>H12</td><td>114</td></tr> <tr><td>H13</td><td>110</td></tr> <tr><td>H14</td><td>115</td></tr> <tr><td>H15</td><td>121</td></tr> <tr><td>H16</td><td>125</td></tr> <tr><td>H17</td><td>130</td></tr> <tr><td>H18</td><td>134</td></tr> <tr><td>H19</td><td>143</td></tr> <tr><td>H20</td><td>152</td></tr> <tr><td>H21</td><td>161</td></tr> <tr><td>H22</td><td>164</td></tr> <tr><td>H23</td><td>167</td></tr> <tr><td>H24</td><td>160</td></tr> <tr><td>H25</td><td>146</td></tr> <tr><td>H26</td><td>142</td></tr> <tr><td>H27</td><td>135</td></tr> <tr><td>H28</td><td>130</td></tr> <tr><td>H29</td><td>126</td></tr> <tr><td>H30</td><td>120</td></tr> <tr><td>R3</td><td>120</td></tr> </tbody> </table>	年度	指数推定値	H5	100	H6	112	H7	126	H8	131	H9	138	H10	137	H11	120	H12	114	H13	110	H14	115	H15	121	H16	125	H17	130	H18	134	H19	143	H20	152	H21	161	H22	164	H23	167	H24	160	H25	146	H26	142	H27	135	H28	130	H29	126	H30	120	R3	120
年度	指数推定値																																																								
H5	100																																																								
H6	112																																																								
H7	126																																																								
H8	131																																																								
H9	138																																																								
H10	137																																																								
H11	120																																																								
H12	114																																																								
H13	110																																																								
H14	115																																																								
H15	121																																																								
H16	125																																																								
H17	130																																																								
H18	134																																																								
H19	143																																																								
H20	152																																																								
H21	161																																																								
H22	164																																																								
H23	167																																																								
H24	160																																																								
H25	146																																																								
H26	142																																																								
H27	135																																																								
H28	130																																																								
H29	126																																																								
H30	120																																																								
R3	120																																																								
<p>個別指標</p> <p>エゾシカ個体数指数 (西部地域)</p>	<p>北海道西部地域におけるエゾシカの生息状況は、平成 24 年度以降は一旦減少傾向が見られたが、平成 27 年度から 28 年度にかけて再び増加に転じた可能性があり、目標の達成に向けてはより一層の取組が必要。</p>  <table border="1"> <caption>エゾシカ個体数指数 (西部地域)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数推定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H12</td><td>100</td></tr> <tr><td>H13</td><td>112</td></tr> <tr><td>H14</td><td>126</td></tr> <tr><td>H15</td><td>146</td></tr> <tr><td>H16</td><td>167</td></tr> <tr><td>H17</td><td>186</td></tr> <tr><td>H18</td><td>204</td></tr> <tr><td>H19</td><td>223</td></tr> <tr><td>H20</td><td>246</td></tr> <tr><td>H21</td><td>269</td></tr> <tr><td>H22</td><td>281</td></tr> <tr><td>H23</td><td>292</td></tr> <tr><td>H24</td><td>277</td></tr> <tr><td>H25</td><td>260</td></tr> <tr><td>H26</td><td>255</td></tr> <tr><td>H27</td><td>253</td></tr> <tr><td>H28</td><td>259</td></tr> <tr><td>H29</td><td>263</td></tr> <tr><td>H30</td><td>264</td></tr> <tr><td>R3</td><td>264</td></tr> </tbody> </table>	年度	指数推定値	H12	100	H13	112	H14	126	H15	146	H16	167	H17	186	H18	204	H19	223	H20	246	H21	269	H22	281	H23	292	H24	277	H25	260	H26	255	H27	253	H28	259	H29	263	H30	264	R3	264														
年度	指数推定値																																																								
H12	100																																																								
H13	112																																																								
H14	126																																																								
H15	146																																																								
H16	167																																																								
H17	186																																																								
H18	204																																																								
H19	223																																																								
H20	246																																																								
H21	269																																																								
H22	281																																																								
H23	292																																																								
H24	277																																																								
H25	260																																																								
H26	255																																																								
H27	253																																																								
H28	259																																																								
H29	263																																																								
H30	264																																																								
R3	264																																																								
<p>補足データ</p> <p>タンチョウの生息数</p>	<p>生息状況の一斉調査により観察されたタンチョウ生息数の平成 28～30 年度の 3 年間の平均値は、1,135 羽。なお、この調査は天候の状況等により観察数に大きな変動があるため、生息数をそのまま示すものではない。</p>  <table border="1"> <caption>タンチョウの生息数 (3カ年平均値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生息数 (羽)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H16～18</td><td>920</td></tr> <tr><td>H17～19</td><td>964</td></tr> <tr><td>H18～20</td><td>959</td></tr> <tr><td>H19～21</td><td>863</td></tr> <tr><td>H20～22</td><td>862</td></tr> <tr><td>H21～23</td><td>888</td></tr> <tr><td>H22～24</td><td>1,034</td></tr> <tr><td>H23～25</td><td>1,155</td></tr> <tr><td>H24～26</td><td>1,170</td></tr> <tr><td>H25～27</td><td>1,222</td></tr> <tr><td>H26～28</td><td>1,248</td></tr> <tr><td>H27～29</td><td>1,231</td></tr> <tr><td>H28～30</td><td>1,135</td></tr> </tbody> </table>	年度	生息数 (羽)	H16～18	920	H17～19	964	H18～20	959	H19～21	863	H20～22	862	H21～23	888	H22～24	1,034	H23～25	1,155	H24～26	1,170	H25～27	1,222	H26～28	1,248	H27～29	1,231	H28～30	1,135																												
年度	生息数 (羽)																																																								
H16～18	920																																																								
H17～19	964																																																								
H18～20	959																																																								
H19～21	863																																																								
H20～22	862																																																								
H21～23	888																																																								
H22～24	1,034																																																								
H23～25	1,155																																																								
H24～26	1,170																																																								
H25～27	1,222																																																								
H26～28	1,248																																																								
H27～29	1,231																																																								
H28～30	1,135																																																								
<p>補足データ</p> <p>野生動植物の目録を作成した分類群の数</p>	<p>平成 26 年度に目録を作成する方針を定め、平成 30 年度までに本道の野生動植物の目録を作成した分類群の数は「哺乳類」、「両生類」、「爬虫類」、「昆虫 (チョウ目)、(コウチュウ目)」、「鳥類」、「魚類」の 6 つ。</p>  <table border="1"> <caption>野生動植物の目録を作成した分類群の数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目録を作成した分類群の数 (群)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成27年度</td><td>2</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>6</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>	年度	目録を作成した分類群の数 (群)	平成27年度	2	平成28年度	4	平成29年度	6	平成30年度	6																																														
年度	目録を作成した分類群の数 (群)																																																								
平成27年度	2																																																								
平成28年度	4																																																								
平成29年度	6																																																								
平成30年度	6																																																								

関連指標群	内 容																																																																														
<p>補足データ</p> <p>「アライグマ防除実施計画」の策定市町村数</p>	<p>「アライグマ防除実施計画」を策定している道内の市町村は平成 30 年度で 138 市町村となっており、近年は横ばいの状況。</p>  <table border="1"> <caption>「アライグマ防除実施計画」の策定市町村数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>65</td></tr> <tr><td>H19</td><td>77</td></tr> <tr><td>H20</td><td>91</td></tr> <tr><td>H21</td><td>101</td></tr> <tr><td>H22</td><td>105</td></tr> <tr><td>H23</td><td>114</td></tr> <tr><td>H24</td><td>117</td></tr> <tr><td>H25</td><td>125</td></tr> <tr><td>H26</td><td>127</td></tr> <tr><td>H27</td><td>134</td></tr> <tr><td>H28</td><td>136</td></tr> <tr><td>H29</td><td>136</td></tr> <tr><td>H30</td><td>138</td></tr> </tbody> </table>	年度	市町村数	H18	65	H19	77	H20	91	H21	101	H22	105	H23	114	H24	117	H25	125	H26	127	H27	134	H28	136	H29	136	H30	138																																																		
年度	市町村数																																																																														
H18	65																																																																														
H19	77																																																																														
H20	91																																																																														
H21	101																																																																														
H22	105																																																																														
H23	114																																																																														
H24	117																																																																														
H25	125																																																																														
H26	127																																																																														
H27	134																																																																														
H28	136																																																																														
H29	136																																																																														
H30	138																																																																														
<p>補足データ</p> <p>エゾシカ捕獲数及び農林業被害額</p>	<p>道では捕獲対策の強化を図っており、平成 30 年度のエゾシカ捕獲数は約 11 万頭【速報値】。また、平成 30 年度のエゾシカによる農林業被害額は約 39 億円。</p>  <table border="1"> <caption>エゾシカ捕獲数及び農林業被害額</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>捕獲数 (頭)</th> <th>被害額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H6</td><td>28,962</td><td>3,384</td></tr> <tr><td>H7</td><td>40,393</td><td>4,056</td></tr> <tr><td>H8</td><td>46,634</td><td>5,005</td></tr> <tr><td>H9</td><td>54,886</td><td>4,903</td></tr> <tr><td>H10</td><td>84,529</td><td>4,476</td></tr> <tr><td>H11</td><td>71,008</td><td>3,839</td></tr> <tr><td>H12</td><td>60,645</td><td>3,583</td></tr> <tr><td>H13</td><td>60,883</td><td>3,113</td></tr> <tr><td>H14</td><td>60,495</td><td>2,840</td></tr> <tr><td>H15</td><td>69,708</td><td>2,969</td></tr> <tr><td>H16</td><td>78,357</td><td>2,791</td></tr> <tr><td>H17</td><td>71,546</td><td>2,829</td></tr> <tr><td>H18</td><td>82,972</td><td>3,082</td></tr> <tr><td>H19</td><td>97,356</td><td>3,244</td></tr> <tr><td>H20</td><td>109,120</td><td>4,045</td></tr> <tr><td>H21</td><td>137,632</td><td>5,082</td></tr> <tr><td>H22</td><td>144,414</td><td>5,944</td></tr> <tr><td>H23</td><td>137,021</td><td>6,409</td></tr> <tr><td>H24</td><td>132,239</td><td>6,304</td></tr> <tr><td>H25</td><td>124,626</td><td>5,563</td></tr> <tr><td>H26</td><td>120,413</td><td>4,613</td></tr> <tr><td>H27</td><td>128,104</td><td>4,254</td></tr> <tr><td>H28</td><td>110,933</td><td>3,917</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>3,928</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>3,858</td></tr> </tbody> </table>	年度	捕獲数 (頭)	被害額 (百万円)	H6	28,962	3,384	H7	40,393	4,056	H8	46,634	5,005	H9	54,886	4,903	H10	84,529	4,476	H11	71,008	3,839	H12	60,645	3,583	H13	60,883	3,113	H14	60,495	2,840	H15	69,708	2,969	H16	78,357	2,791	H17	71,546	2,829	H18	82,972	3,082	H19	97,356	3,244	H20	109,120	4,045	H21	137,632	5,082	H22	144,414	5,944	H23	137,021	6,409	H24	132,239	6,304	H25	124,626	5,563	H26	120,413	4,613	H27	128,104	4,254	H28	110,933	3,917	H29		3,928	H30		3,858
年度	捕獲数 (頭)	被害額 (百万円)																																																																													
H6	28,962	3,384																																																																													
H7	40,393	4,056																																																																													
H8	46,634	5,005																																																																													
H9	54,886	4,903																																																																													
H10	84,529	4,476																																																																													
H11	71,008	3,839																																																																													
H12	60,645	3,583																																																																													
H13	60,883	3,113																																																																													
H14	60,495	2,840																																																																													
H15	69,708	2,969																																																																													
H16	78,357	2,791																																																																													
H17	71,546	2,829																																																																													
H18	82,972	3,082																																																																													
H19	97,356	3,244																																																																													
H20	109,120	4,045																																																																													
H21	137,632	5,082																																																																													
H22	144,414	5,944																																																																													
H23	137,021	6,409																																																																													
H24	132,239	6,304																																																																													
H25	124,626	5,563																																																																													
H26	120,413	4,613																																																																													
H27	128,104	4,254																																																																													
H28	110,933	3,917																																																																													
H29		3,928																																																																													
H30		3,858																																																																													
<p>補足データ</p> <p>エゾシカ推定生息数</p>	<p>全道におけるエゾシカの推定生息数は平成 23 年から減少に転じ、平成 30 年度はピーク時より 11 万頭少ない約 66 万頭と推定。</p>  <table border="1"> <caption>エゾシカ推定生息数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>推定生息数 (万頭)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成22年度</td><td>76</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>77</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>73</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>70</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>68</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>67</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>67</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>66</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>66</td></tr> </tbody> </table>	年度	推定生息数 (万頭)	平成22年度	76	平成23年度	77	平成24年度	73	平成25年度	70	平成26年度	68	平成27年度	67	平成28年度	67	平成29年度	66	平成30年度	66																																																										
年度	推定生息数 (万頭)																																																																														
平成22年度	76																																																																														
平成23年度	77																																																																														
平成24年度	73																																																																														
平成25年度	70																																																																														
平成26年度	68																																																																														
平成27年度	67																																																																														
平成28年度	67																																																																														
平成29年度	66																																																																														
平成30年度	66																																																																														
<p>補足データ</p> <p>エゾシカ個体数指数 (南部地域)</p>	<p>北海道南部地域におけるエゾシカの生息状況は、増加が継続。 ※ 平成 29 年 3 月に「北海道エゾシカ管理計画 (第 5 期)」を策定し、補足データとして追加。</p>  <table border="1"> <caption>エゾシカ個体数指数 (南部地域)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数推定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>117</td></tr> <tr><td>H25</td><td>138</td></tr> <tr><td>H26</td><td>162</td></tr> <tr><td>H27</td><td>188</td></tr> <tr><td>H28</td><td>214</td></tr> <tr><td>H29</td><td>248</td></tr> <tr><td>H30</td><td>279</td></tr> </tbody> </table>	年度	指数推定値	H23	100	H24	117	H25	138	H26	162	H27	188	H28	214	H29	248	H30	279																																																												
年度	指数推定値																																																																														
H23	100																																																																														
H24	117																																																																														
H25	138																																																																														
H26	162																																																																														
H27	188																																																																														
H28	214																																																																														
H29	248																																																																														
H30	279																																																																														

2 地域の資源を活用した持続可能な地域社会の形成

■目標とその達成状況

目 標	再生可能エネルギーの利用拡大や、バイオマスなどの循環資源の活用により、クリーンなエネルギーを自給し、地域の循環資源を活用する持続可能な地域社会の形成を図ります。
達成状況	<p>北海道全体の再生可能エネルギーの導入量（発電電力量）は大型の太陽光やバイオマス発電の導入が進み増加しており、目標の達成に向けて順調に推移。バイオマスや温泉熱などの熱利用分野では地産地消の取組が進んでいる。</p> <p>なお、「水素サプライチェーン構築ロードマップ」に従い、「水素・燃料電池普及キャラバン」を開催。今後も水素社会の実現に向けた取組を継続していく。</p> <p>廃棄物系バイオマスの利活用率は基準年（平成24年度）に比べて1.6ポイント上昇し、目標の達成に向けて順調に推移。</p> <p>未利用バイオマスの利活用率は基準年（平成24年度）に比べて11.1ポイント上昇し、目標の達成に向け順調に推移。</p>

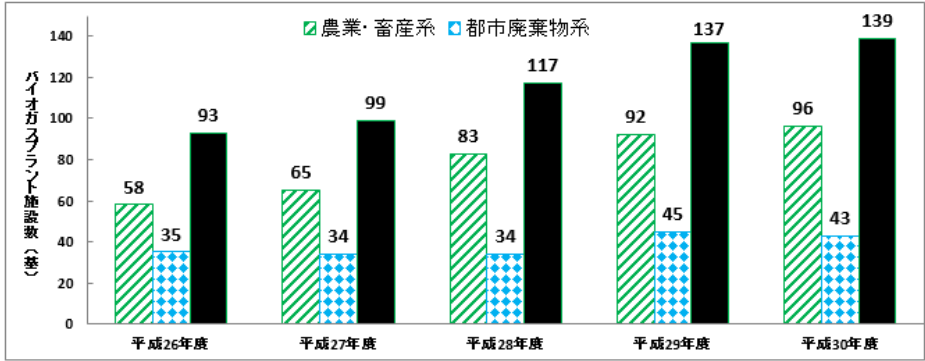
■関連指標群の状況 【再掲】

関連指標群	内 容																
指標 新エネルギー導入量 発電分野（発電電力量）	<p>再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入（平成24年7月）を契機に太陽光やバイオマスなどの導入が進んだ結果、近年は実績値が大きく伸びており、目標の達成に向けて順調に推移。</p> <table border="1"> <caption>新エネルギー導入量 発電分野（発電電力量）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値 (百万kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>5,866</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>6,224</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>5,924</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>6,775</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>7,693</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7,921</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>8,115</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値 (百万kWh)	平成24年度	5,866	平成25年度	6,224	平成26年度	5,924	平成27年度	6,775	平成28年度	7,693	平成29年度	7,921	令和2年度	8,115
年度	値 (百万kWh)																
平成24年度	5,866																
平成25年度	6,224																
平成26年度	5,924																
平成27年度	6,775																
平成28年度	7,693																
平成29年度	7,921																
令和2年度	8,115																
指標 新エネルギー導入量 熱利用分野	<p>エネルギー地産地消の取組支援などにより、バイオマスを中心に地域の特性を活かした熱利用が着実に増加。</p> <table border="1"> <caption>新エネルギー導入量 熱利用分野</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値 (TJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>12,257</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>12,919</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>13,242</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>13,979</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>14,227</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>14,932</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>20,133</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値 (TJ)	平成24年度	12,257	平成25年度	12,919	平成26年度	13,242	平成27年度	13,979	平成28年度	14,227	平成29年度	14,932	令和2年度	20,133
年度	値 (TJ)																
平成24年度	12,257																
平成25年度	12,919																
平成26年度	13,242																
平成27年度	13,979																
平成28年度	14,227																
平成29年度	14,932																
令和2年度	20,133																

関連指標群	内 容																																																																																																																	
指標 廃棄物系バイオマス 利活用率 (発生量ベース)	<p>平成 28 年度の本道の廃棄物系バイオマス利活用率は、89.8%となっており、前年より 0.4 ポイント減少したが、基準年（平成 24 年度）に比べ、1.6 ポイント上昇しており、目標の達成に向けて順調に推移。</p>																																																																																																																	
指標 未利用バイオマス 利活用率 (発生量ベース)	<p>平成 28 年度の本道の未利用バイオマス利活用率は、71.5%となっており、基準年（平成 24 年度）に比べ、11.1 ポイント増加しており、目標を達成。</p>																																																																																																																	
補足データ 廃棄物系バイオマス の種別ごとの 発生量及び利活用量	<p>平成 28 年度の本道の廃棄物系バイオマスの発生量及び利活用量は、下表のとおり。 ※ 利活用率については指標 No.2-指-③のとおり。 ■ 廃棄物系バイオマスの発生量及び利活用率(H28)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">発生量(t)</th> <th colspan="2">利活用仕向量(t)</th> <th rowspan="2">利活用率</th> </tr> <tr> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">一般廃棄物</td> <td>紙類(一般廃棄物)</td> <td>1,232,948</td> <td>438,066</td> <td>678,000</td> <td>240,893</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td> 集団回収・業者回収</td> <td>678,000</td> <td>240,893</td> <td>678,000</td> <td>240,893</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td> 資源ごみ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 可燃・不燃・混合</td> <td>554,948</td> <td>197,173</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td> 生活系・事業系生ごみ</td> <td>518,529</td> <td>22,231</td> <td>57,252</td> <td>2,455</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td> し尿等</td> <td>622,553</td> <td>7,889</td> <td>145,665</td> <td>1,846</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>2,374,030</td> <td>468,187</td> <td>880,917</td> <td>245,194</td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">産業廃棄物</td> <td>有機性汚泥</td> <td>6,263,467</td> <td>206,754</td> <td>5,823,377</td> <td>184,959</td> <td>89.5%</td> </tr> <tr> <td>下水汚泥</td> <td>4,466,182</td> <td>56,595</td> <td>3,862,242</td> <td>48,942</td> <td>86.5%</td> </tr> <tr> <td>紙 く ず</td> <td>21,239</td> <td>7,546</td> <td>10,039</td> <td>3,567</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>木 く ず</td> <td>355,976</td> <td>156,736</td> <td>321,583</td> <td>141,593</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>動植物性残さ(食料品)</td> <td>225,432</td> <td>93,364</td> <td>222,594</td> <td>92,188</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>家畜ふん尿</td> <td>19,304,606</td> <td>1,151,906</td> <td>19,302,062</td> <td>1,151,754</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>30,636,902</td> <td>1,672,901</td> <td>29,541,897</td> <td>1,623,003</td> <td>97.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>黒液</td> <td>1,878,410</td> <td>526,894</td> <td>1,878,410</td> <td>526,894</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃棄物系バイオマス計</td> <td>34,889,342</td> <td>2,667,982</td> <td>32,301,224</td> <td>2,395,091</td> <td>89.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	発生量(t)		利活用仕向量(t)		利活用率	湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算	一般廃棄物	紙類(一般廃棄物)	1,232,948	438,066	678,000	240,893	55.0%	集団回収・業者回収	678,000	240,893	678,000	240,893	100.0%	資源ごみ						可燃・不燃・混合	554,948	197,173	0	0	0.0%	生活系・事業系生ごみ	518,529	22,231	57,252	2,455	11.0%	し尿等	622,553	7,889	145,665	1,846	23.4%		小計	2,374,030	468,187	880,917	245,194	52.4%	産業廃棄物	有機性汚泥	6,263,467	206,754	5,823,377	184,959	89.5%	下水汚泥	4,466,182	56,595	3,862,242	48,942	86.5%	紙 く ず	21,239	7,546	10,039	3,567	47.3%	木 く ず	355,976	156,736	321,583	141,593	90.3%	動植物性残さ(食料品)	225,432	93,364	222,594	92,188	98.7%	家畜ふん尿	19,304,606	1,151,906	19,302,062	1,151,754	100.0%		小計	30,636,902	1,672,901	29,541,897	1,623,003	97.0%		黒液	1,878,410	526,894	1,878,410	526,894	100.0%		廃棄物系バイオマス計	34,889,342	2,667,982	32,301,224	2,395,091	89.8%
区分	種類			発生量(t)		利活用仕向量(t)			利活用率																																																																																																									
		湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算																																																																																																													
一般廃棄物	紙類(一般廃棄物)	1,232,948	438,066	678,000	240,893	55.0%																																																																																																												
	集団回収・業者回収	678,000	240,893	678,000	240,893	100.0%																																																																																																												
	資源ごみ																																																																																																																	
	可燃・不燃・混合	554,948	197,173	0	0	0.0%																																																																																																												
	生活系・事業系生ごみ	518,529	22,231	57,252	2,455	11.0%																																																																																																												
	し尿等	622,553	7,889	145,665	1,846	23.4%																																																																																																												
	小計	2,374,030	468,187	880,917	245,194	52.4%																																																																																																												
産業廃棄物	有機性汚泥	6,263,467	206,754	5,823,377	184,959	89.5%																																																																																																												
	下水汚泥	4,466,182	56,595	3,862,242	48,942	86.5%																																																																																																												
	紙 く ず	21,239	7,546	10,039	3,567	47.3%																																																																																																												
	木 く ず	355,976	156,736	321,583	141,593	90.3%																																																																																																												
	動植物性残さ(食料品)	225,432	93,364	222,594	92,188	98.7%																																																																																																												
	家畜ふん尿	19,304,606	1,151,906	19,302,062	1,151,754	100.0%																																																																																																												
	小計	30,636,902	1,672,901	29,541,897	1,623,003	97.0%																																																																																																												
	黒液	1,878,410	526,894	1,878,410	526,894	100.0%																																																																																																												
	廃棄物系バイオマス計	34,889,342	2,667,982	32,301,224	2,395,091	89.8%																																																																																																												
補足データ 未利用バイオマスの 種別ごとの 発生量及び利活用量	<p>平成 28 年度の本道の未利用バイオマスの発生量及び利活用量は、下表のとおり。 ※ 利活用率については指標 No.2-指-④のとおり。 ■ 未利用バイオマスの発生量及び利活用率(H28)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">発生量(t)</th> <th colspan="2">利活用仕向量(t)</th> <th rowspan="2">利活用率</th> </tr> <tr> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> <th>湿潤重量</th> <th>炭素量換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">未利用</td> <td>農作物非食用部</td> <td>1,525,976</td> <td>436,887</td> <td>1,364,055</td> <td>390,529</td> <td>89.4%</td> </tr> <tr> <td> 稲わら</td> <td>569,057</td> <td>162,921</td> <td>544,659</td> <td>155,936</td> <td>95.7%</td> </tr> <tr> <td> もみ殻</td> <td>146,369</td> <td>41,905</td> <td>115,237</td> <td>32,992</td> <td>78.7%</td> </tr> <tr> <td> 麦かん</td> <td>810,550</td> <td>232,060</td> <td>704,159</td> <td>201,601</td> <td>86.9%</td> </tr> <tr> <td>林地残材</td> <td>940,000</td> <td>248,329</td> <td>376,000</td> <td>99,332</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未利用バイオマス 計</td> <td>2,465,976</td> <td>685,216</td> <td>1,740,055</td> <td>489,861</td> <td>71.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	発生量(t)		利活用仕向量(t)		利活用率	湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算	未利用	農作物非食用部	1,525,976	436,887	1,364,055	390,529	89.4%	稲わら	569,057	162,921	544,659	155,936	95.7%	もみ殻	146,369	41,905	115,237	32,992	78.7%	麦かん	810,550	232,060	704,159	201,601	86.9%	林地残材	940,000	248,329	376,000	99,332	40.0%		未利用バイオマス 計	2,465,976	685,216	1,740,055	489,861	71.5%																																																																
区分	種類			発生量(t)		利活用仕向量(t)			利活用率																																																																																																									
		湿潤重量	炭素量換算	湿潤重量	炭素量換算																																																																																																													
未利用	農作物非食用部	1,525,976	436,887	1,364,055	390,529	89.4%																																																																																																												
	稲わら	569,057	162,921	544,659	155,936	95.7%																																																																																																												
	もみ殻	146,369	41,905	115,237	32,992	78.7%																																																																																																												
	麦かん	810,550	232,060	704,159	201,601	86.9%																																																																																																												
	林地残材	940,000	248,329	376,000	99,332	40.0%																																																																																																												
	未利用バイオマス 計	2,465,976	685,216	1,740,055	489,861	71.5%																																																																																																												

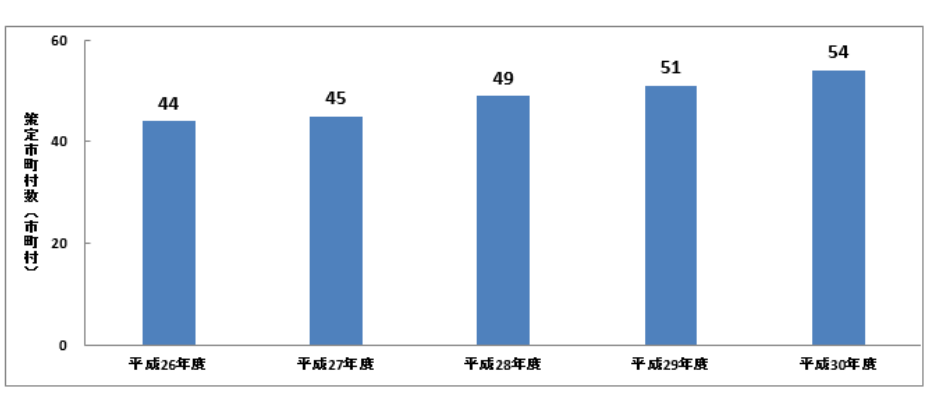
補足データ
**バイオガスプラント
 施設数**

平成 30 年度の本道のバイオガスプラント施設数は、139 基となっており、増加が続いている。



補足データ
**バイオマス活用
 推進計画等
 策定市町村数**

平成 30 年度の本道のバイオマス活用推進計画等策定市町村数は、54 市町村となっており、策定市町村は年々増加。

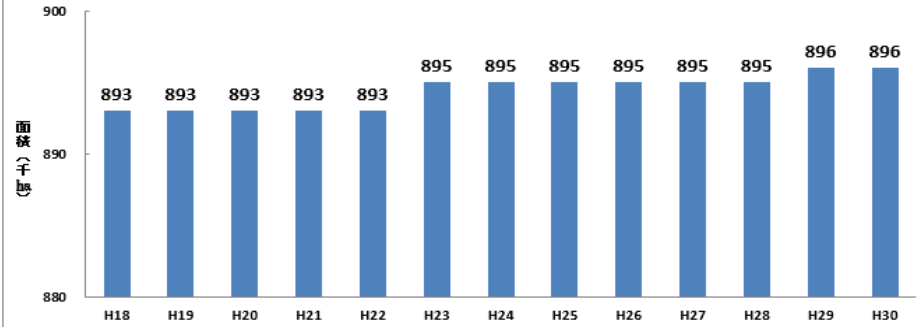
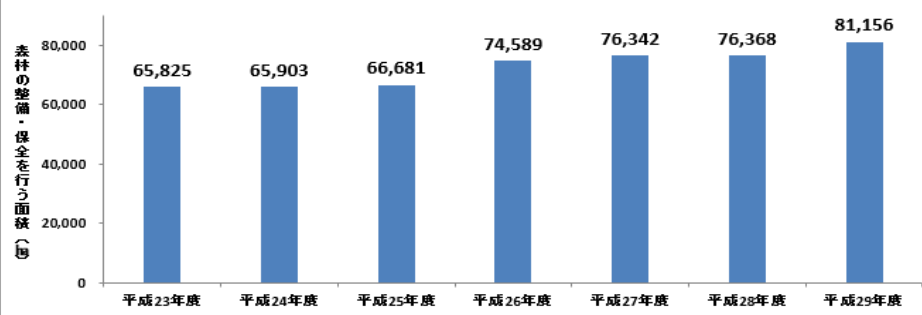
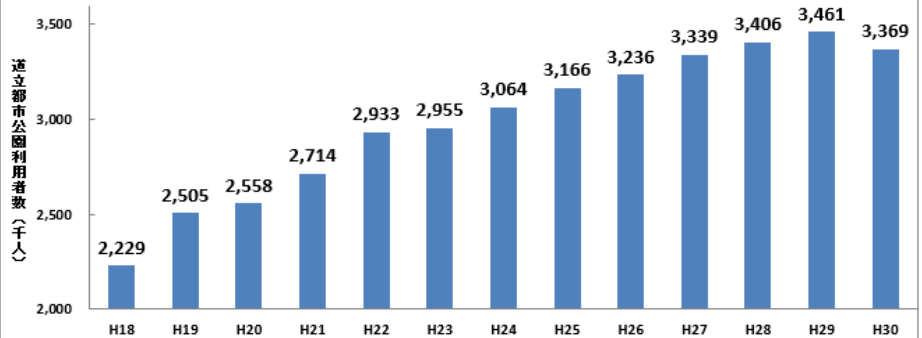
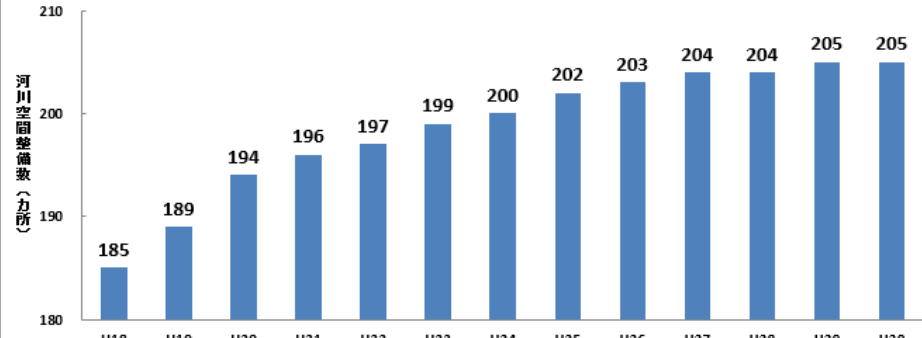


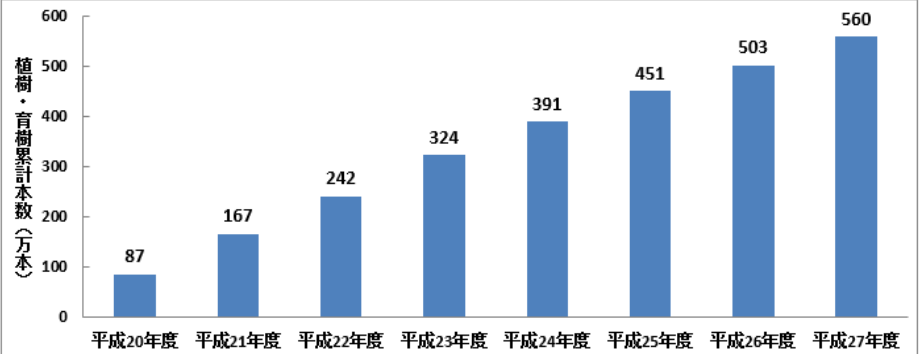
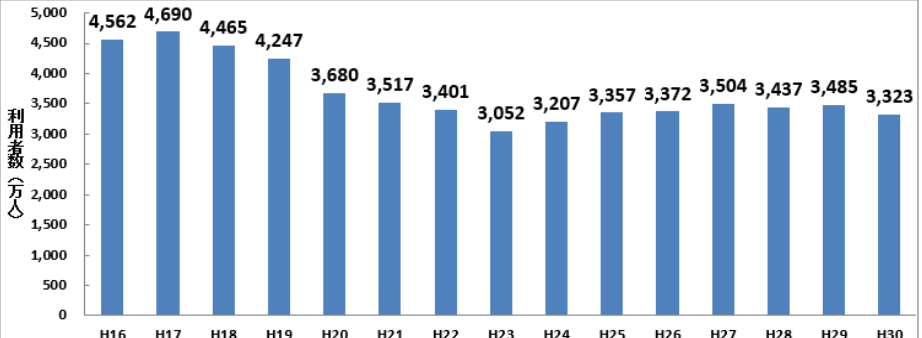
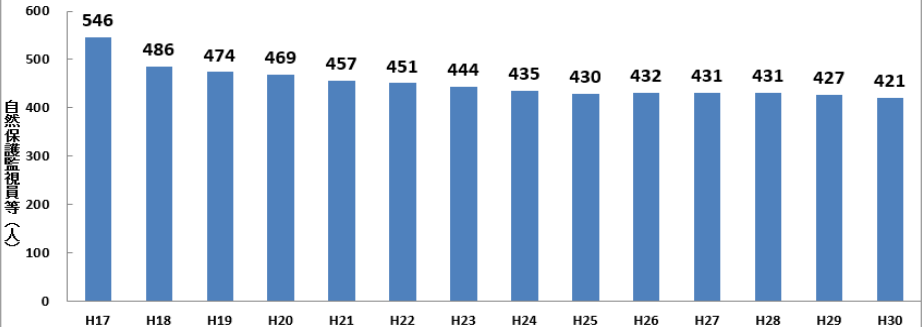
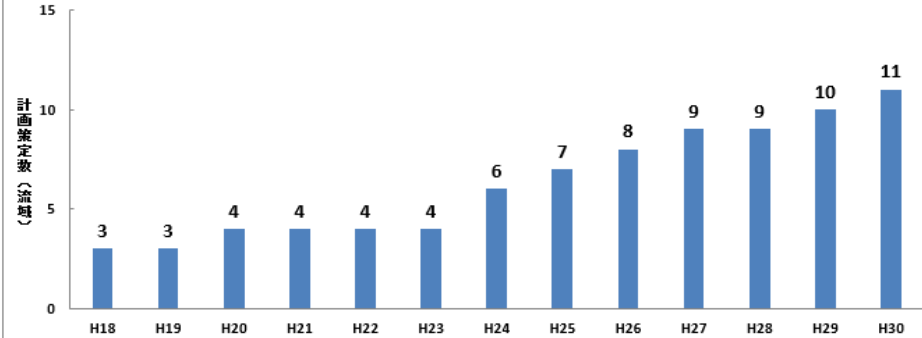
3 豊かな自然の次代への継承

■目標とその達成状況

目 標	<p>知床をはじめとした本道の豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、様々な主体と連携・協働を図りながら、自然環境等の保全とその適正な利用、これらの活動の担い手や指導者の育成を推進します。</p>
達成状況	<p>すぐれた自然地域の面積は近年横ばい状況であり、こうした地域の保全については、自然公園の施設整備を行うとともに、自然保護監視員、鳥獣保護員及び生物多様性保護監視員を配置し、自然公園や鳥獣保護区等における適切な保護管理等を行っている。</p> <p>世界自然遺産の知床では、サケ科魚類遡上状況調査や河川工作物改良効果確認調査のほか、北海道知床世界自然遺産条例の制定や「知床の日」道民カレッジ連携講座の開催により、類い希な自然環境を将来に渡った保管・管理の推進を図った。</p> <p>多様な生態系や水源涵養機能を有する森林の保全や整備、豊かな生物を育む潤いのある河川環境の保全・整備を行い、積極的な生物多様性保全活動を促進。</p> <p>生物多様性の保全のため特に保全が求められる森林において設定する「生物多様性ゾーン」の面積は前年度と比べて増加。</p> <p>緑化については、緑化活動団体等の自発的な活動の定着により、道民との協働による森林づくりの取組が進んでいる。</p> <p>本道の豊かですぐれた自然環境を今後も維持しながら利用できるよう、自然公園等において、必要な施設整備を行った結果、東日本大震災後の観光需要の回復などを受けて平成24年度から利用者数が増加に転じていたが、平成30年度は胆振東部地震直後に、道内の自然公園利用者数の大きな落ち込みが見られたものの徐々に回復し、最終的には前年度から約5%の減少に留まった。今後も観光需要の伸びにより利用者数の増加が見込まれることから、引き続き、すぐれた自然環境を適切に保護・管理するとともに、適正な利用を促進することが重要。</p> <p>健全な水循環を確保するため、道内各地域において水環境保全のための協議会等が設置され、取組が進められており、流域環境保全計画策定数は11流域で、着実に流域の関係者が連携・協力する流域ネットワークの形成が進んでいる。</p>

■関連指標群の状況【再掲】

関連指標群	内容																												
<p>補足データ</p> <p>すぐれた自然地域の面積</p>	<p>本道のすぐれた自然地域の面積は近年、横ばい状況であるが、新たな地域指定や地域の拡大には、関係する市町村や機関との継続した協議や調整が必要であり、時間を要している状況。</p> <p>※ 自然公園(国立公園・国定公園・道立自然公園)及び自然環境保全地域等の面積合計</p>  <table border="1"> <caption>すぐれた自然地域の面積 (千ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>893</td></tr> <tr><td>H19</td><td>893</td></tr> <tr><td>H20</td><td>893</td></tr> <tr><td>H21</td><td>893</td></tr> <tr><td>H22</td><td>893</td></tr> <tr><td>H23</td><td>895</td></tr> <tr><td>H24</td><td>895</td></tr> <tr><td>H25</td><td>895</td></tr> <tr><td>H26</td><td>895</td></tr> <tr><td>H27</td><td>895</td></tr> <tr><td>H28</td><td>895</td></tr> <tr><td>H29</td><td>896</td></tr> <tr><td>H30</td><td>896</td></tr> </tbody> </table>	年度	面積	H18	893	H19	893	H20	893	H21	893	H22	893	H23	895	H24	895	H25	895	H26	895	H27	895	H28	895	H29	896	H30	896
年度	面積																												
H18	893																												
H19	893																												
H20	893																												
H21	893																												
H22	893																												
H23	895																												
H24	895																												
H25	895																												
H26	895																												
H27	895																												
H28	895																												
H29	896																												
H30	896																												
<p>補足データ</p> <p>森林所有者等が生物多様性保全のため特に森林の整備・保全を行う面積</p>	<p>生物多様性の保全のため特に保全が求められる森林において設定する「生物多様性ゾーン」の面積は前年度と比べて増加しているが、未設定の市町村もあることから引き続き「生物多様性ゾーン」設定に向けた指導・助言が必要。</p>  <table border="1"> <caption>森林の整備・保全を行う面積 (千ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成23年度</td><td>65,825</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>65,903</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>66,681</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>74,589</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>76,342</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>76,368</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>81,156</td></tr> </tbody> </table>	年度	面積	平成23年度	65,825	平成24年度	65,903	平成25年度	66,681	平成26年度	74,589	平成27年度	76,342	平成28年度	76,368	平成29年度	81,156												
年度	面積																												
平成23年度	65,825																												
平成24年度	65,903																												
平成25年度	66,681																												
平成26年度	74,589																												
平成27年度	76,342																												
平成28年度	76,368																												
平成29年度	81,156																												
<p>補足データ</p> <p>一人当たり広域都市公園面積</p>	<p>平成30年度末の本道の一人当たりの広域都市公園面積は、2.6m²/人となっており、平成26年度以降は横ばいの状況。</p>  <table border="1"> <caption>一人当たり広域都市公園面積 (千m²/人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>2,229</td></tr> <tr><td>H19</td><td>2,505</td></tr> <tr><td>H20</td><td>2,558</td></tr> <tr><td>H21</td><td>2,714</td></tr> <tr><td>H22</td><td>2,933</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2,955</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,064</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,166</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,236</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,339</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,406</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,461</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,369</td></tr> </tbody> </table>	年度	面積	H18	2,229	H19	2,505	H20	2,558	H21	2,714	H22	2,933	H23	2,955	H24	3,064	H25	3,166	H26	3,236	H27	3,339	H28	3,406	H29	3,461	H30	3,369
年度	面積																												
H18	2,229																												
H19	2,505																												
H20	2,558																												
H21	2,714																												
H22	2,933																												
H23	2,955																												
H24	3,064																												
H25	3,166																												
H26	3,236																												
H27	3,339																												
H28	3,406																												
H29	3,461																												
H30	3,369																												
<p>補足データ</p> <p>水辺に親しめる河川空間整備数</p>	<p>本道の水辺に親しめる河川空間整備数は、平成30年度までに205カ所となっており、着実に整備を進めている状況。</p>  <table border="1"> <caption>水辺に親しめる河川空間整備数 (カ所)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>整備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>185</td></tr> <tr><td>H19</td><td>189</td></tr> <tr><td>H20</td><td>194</td></tr> <tr><td>H21</td><td>196</td></tr> <tr><td>H22</td><td>197</td></tr> <tr><td>H23</td><td>199</td></tr> <tr><td>H24</td><td>200</td></tr> <tr><td>H25</td><td>202</td></tr> <tr><td>H26</td><td>203</td></tr> <tr><td>H27</td><td>204</td></tr> <tr><td>H28</td><td>204</td></tr> <tr><td>H29</td><td>205</td></tr> <tr><td>H30</td><td>205</td></tr> </tbody> </table>	年度	整備数	H18	185	H19	189	H20	194	H21	196	H22	197	H23	199	H24	200	H25	202	H26	203	H27	204	H28	204	H29	205	H30	205
年度	整備数																												
H18	185																												
H19	189																												
H20	194																												
H21	196																												
H22	197																												
H23	199																												
H24	200																												
H25	202																												
H26	203																												
H27	204																												
H28	204																												
H29	205																												
H30	205																												

関連指標群	内 容																																
<p>補足データ</p> <p>道民との協働により 育てる樹木の本数</p>	<p>平成 20 年度から平成 27 年度までの道民との協働により育てる樹木の本数は累計約 560 万本となっている。なお、近年緑化活動団体等の自発的な活動の定着が進んでいることから、平成 27 年度実績をもって調査を終了。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>植樹・育樹累計本数(万本)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成20年度</td><td>87</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>167</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>242</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>324</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>391</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>451</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>503</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>560</td></tr> </tbody> </table>	年度	植樹・育樹累計本数(万本)	平成20年度	87	平成21年度	167	平成22年度	242	平成23年度	324	平成24年度	391	平成25年度	451	平成26年度	503	平成27年度	560														
年度	植樹・育樹累計本数(万本)																																
平成20年度	87																																
平成21年度	167																																
平成22年度	242																																
平成23年度	324																																
平成24年度	391																																
平成25年度	451																																
平成26年度	503																																
平成27年度	560																																
<p>補足データ</p> <p>自然公園利用者数</p>	<p>平成 30 年度の本道の自然公園利用者数は胆振東部地震等、自然災害の影響から前年より約 160 万人の減少（対前年比 95%）となったが、今後も微増傾向で推移するものと考えられる。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H16</td><td>4,562</td></tr> <tr><td>H17</td><td>4,690</td></tr> <tr><td>H18</td><td>4,465</td></tr> <tr><td>H19</td><td>4,247</td></tr> <tr><td>H20</td><td>3,680</td></tr> <tr><td>H21</td><td>3,517</td></tr> <tr><td>H22</td><td>3,401</td></tr> <tr><td>H23</td><td>3,052</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,207</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,357</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,372</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,504</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,437</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,485</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,323</td></tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(万人)	H16	4,562	H17	4,690	H18	4,465	H19	4,247	H20	3,680	H21	3,517	H22	3,401	H23	3,052	H24	3,207	H25	3,357	H26	3,372	H27	3,504	H28	3,437	H29	3,485	H30	3,323
年度	利用者数(万人)																																
H16	4,562																																
H17	4,690																																
H18	4,465																																
H19	4,247																																
H20	3,680																																
H21	3,517																																
H22	3,401																																
H23	3,052																																
H24	3,207																																
H25	3,357																																
H26	3,372																																
H27	3,504																																
H28	3,437																																
H29	3,485																																
H30	3,323																																
<p>補足データ</p> <p>自然保護監視員等の 人数と監視延べ日数</p>	<p>平成 30 年度の本道の自然保護監視員等の人数は 421 人（実人員）と近年は概ね横ばいの状況となっている。また、監視延べ日数は予算の削減に伴い 7,458 日と漸減したものの、効果的な巡視に努めている。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>自然保護監視員等(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H17</td><td>546</td></tr> <tr><td>H18</td><td>486</td></tr> <tr><td>H19</td><td>474</td></tr> <tr><td>H20</td><td>469</td></tr> <tr><td>H21</td><td>457</td></tr> <tr><td>H22</td><td>451</td></tr> <tr><td>H23</td><td>444</td></tr> <tr><td>H24</td><td>435</td></tr> <tr><td>H25</td><td>430</td></tr> <tr><td>H26</td><td>432</td></tr> <tr><td>H27</td><td>431</td></tr> <tr><td>H28</td><td>431</td></tr> <tr><td>H29</td><td>427</td></tr> <tr><td>H30</td><td>421</td></tr> </tbody> </table>	年度	自然保護監視員等(人)	H17	546	H18	486	H19	474	H20	469	H21	457	H22	451	H23	444	H24	435	H25	430	H26	432	H27	431	H28	431	H29	427	H30	421		
年度	自然保護監視員等(人)																																
H17	546																																
H18	486																																
H19	474																																
H20	469																																
H21	457																																
H22	451																																
H23	444																																
H24	435																																
H25	430																																
H26	432																																
H27	431																																
H28	431																																
H29	427																																
H30	421																																
<p>補足データ</p> <p>健全な水循環確保の ための流域環境 保全計画策定数</p>	<p>平成 30 年度の健全な水循環確保のための流域環境保全計画策定数は、全道で 11 流域となり、着実に策定数が増加。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画策定数(流域)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>3</td></tr> <tr><td>H19</td><td>3</td></tr> <tr><td>H20</td><td>4</td></tr> <tr><td>H21</td><td>4</td></tr> <tr><td>H22</td><td>4</td></tr> <tr><td>H23</td><td>4</td></tr> <tr><td>H24</td><td>6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10</td></tr> <tr><td>H30</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	年度	計画策定数(流域)	H18	3	H19	3	H20	4	H21	4	H22	4	H23	4	H24	6	H25	7	H26	8	H27	9	H28	9	H29	10	H30	11				
年度	計画策定数(流域)																																
H18	3																																
H19	3																																
H20	4																																
H21	4																																
H22	4																																
H23	4																																
H24	6																																
H25	7																																
H26	8																																
H27	9																																
H28	9																																
H29	10																																
H30	11																																